1. 会 議 名 予算特別委員会
2. 日 時 平成26年3月17日(月) 午前10時00分開会
午後 3時51分閉会
3. 場 所 議場
4. 出席委員 岩崎健二委員長、竹原恵美副委員長、出口徹裕委員、
仮屋園一徳委員、石澤正彰委員、松元薫久委員、牛之濱由美委員、
濱崎國治委員、野畑直委員、大田重男委員、牟田学委員、
木下孝行委員、鳥飼光明委員、山田勝委員、中面幸人委員
5. 事務局職員 議事係長 牟田 昇、議事係 寺地 英兼
6. 説明員
・商工観光課 課長 小牟田伸雄 君 課長補佐 松崎 浩幸 君 ・生涯学習課 課長 上野 教次 君 課長補佐 平石 龍喜 君 係長 伊藤 太 君 係長 大野 勝一 君 ・学校給食センター 所長 野崎 清二 君 参事 大河原宗平 君 係長 迫田 勝広 君 ・学校教育課 課長 中山 義邦 君 課長補佐 小田原 真 君 係長 中鉢 吉彦 君	・都市建設課 課長 飛松 義行 君 課長補佐 富吉 良次 君 課長補佐 石澤 正志 君 係長 松木 勝徳 君 係長 大野 洋一 君 係長 濱崎 久朗 君 係長 大田 省吾 君 ・教育総務課 課長 佐潟富士男 君 課長補佐 小中 茂信 君 係長 松田 高明 君 ・水道課 課長 浦 雅智 君 課長補佐 中野 正市 君 係長 新坂 謙二 君 係長 垂 義継 君
7. 会議に付した事件
- ・議案第23号 平成26年度阿久根市一般会計予算
 - ・議案第25号 平成26年度阿久根市簡易水道特別会計予算
 - ・議案第29号 平成26年度阿久根市水道事業会計予算
8. 議事の経過概要
別紙のとおり

審査の経過概要

（商工観光課入室）

○議案第23号 平成26年度阿久根市一般会計予算

予算特別委員長（岩崎健二委員）

3月14日に引き続き、予算特別委員会を開会いたします。日程表にしたがい、議案第23号を議題とし、商工観光課所管の事項から審査に入ります。

商工観光課長の説明を求めますが、説明は所管の予算内容、新規事業等について、簡潔明瞭をお願いします。

小牟田伸雄商工観光課長

それでは、平成26年第1回定例会で予算特別委員会に付託されました議案第23号について、平成26年度一般会計予算のうち、商工観光課所管分について御説明いたします。

それでは、歳出から御説明いたします。予算書の73ページをお開きください。5款2項1目労働諸費19節負担金補助及び交付金1,198万4千円のうち当課所管分は、出水地区職業訓練協会への運営補助金3万4千円で法令外負担金であります。平成25年度は、阿久根市から11名の受講者がありました。

次に90ページをお開きください。7款1項1目商工総務費であります。本年度予算額は、4,162万3千円で、前年度と比較しますと758万円の増となっておりますが、これは人件費の増額が主なものであります。それでは、各節ごとに主なものを説明させていただきます。1節報酬175万1千円は、消費生活相談員1名分の報酬であります。2節の給料及び3節の職員手当等は、課長及び商工観光係5名、計6名分の人件費であり、4節の共済費については、職員の共済費に嘱託職員及び臨時職員の社会保険料も含んでおります。7節賃金141万6千円は、商工観光係臨時職員1名の賃金であります。9節旅費22万2千円は、国民生活センター主催による研修会に参加する職員旅費並びに消費生活相談員の費用弁償が主なものであります。11節需用費20万2千円は、コピー料等消耗品費であり、食料費2万8千円は、各通り会総会時の賄い費であります。

次に、2目商工振興費を御説明申し上げます。本年度予算額は7,605万7千円で、前年度と比較しますと312万2千円の増であります。増額の主な理由は、備品購入費で道の駅の冷蔵オープンケースのほか、厨房機器が老朽化していることから買い替えることが主なものであります。それでは、各節ごとに説明いたします。9節の旅費42万円は、物産展や地元産品商談会等に関する旅費及び大阪で開催される鹿児島ファンデーの参加旅費等が主なもので、地元特産品等のPRを行うものであります。11節の需要費217万1千円は、物産展用の消耗品に加え、商店街活性化事業として鶴翔高校と連携し、鶴翔高校の生徒が栽培した花苗を駅前通りに年2回植栽するための花苗代や、はな・HANA・華祭り用の花苗や腐葉土等を購入する費用及び道の駅の厨房室照明・休憩室空調機修理等が主なものであります。12節役務費20万円は、道の駅の施設建物損害共済保険料や、その他郵便料、電話料と物産展時ののれんのクリーニング代が主なものであります。91ページになりますが、13節委託料278万2千円は、道の駅の窓ガラス清掃業務及び特産品看板土地草刈業務並びに地域メディアプロデューサー育成事業委託であり、地域メディアプロデューサー育成事業は、事業者及び自営業者を対象に映像技術を習得させ、自社商品や地場産業のPRをインターネット等を活用し情報配信するための人材育成をするものであり、宣伝コストの削減と商

品の販路拡大を図るものであります。14節使用料及び賃借料14万円は、関西かごしまファンデーション借上料と立看板借地料2カ所分であります。18節備品購入費416万円は、道の駅がオープンしてから18年が経過し、鮮魚の冷蔵オープンケースのほか、冷凍コールドテーブル及びフライヤーの故障が多いことから買いかえるものであります。19節負担金補助及び交付金2,618万4千円は、予算書にあります5件の負担金と11件の補助金であります。負担金の中で出水駅、蔵之元港間シャトルバス利用促進協議会の負担金125万7千円は、天草地域と出水地域を結ぶシャトルバスの利用を促進し、天草地域及び出水地域の振興に寄与することを目的に設立された協議会に対する負担金であり、天草市・出水市・長島町・阿久根市のほか、鹿児島県北薩地域振興局、熊本県天草広域本部、観光協会等及び関係交通機関で組織されております。事業としまして観光パンフレットの制作、新聞雑誌等への広告掲載、PRグッズ等の制作を予定しているところであります。また、平成24年8月から運行を1日4往復から5往復に増便し、利用者数も増加しているところであります。物産展宣伝30万円は、年2回開催される鹿児島山形屋阿久根物産展時における新聞広告宣伝料であり、観光連盟と市で負担するものであります。補助金の中で、阿久根市地域間幹線系統確保維持費補助事業につきましては、広域的・幹線的なバス路線の確保・維持を図り、地域住民の福祉を確保するため、国の地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱及び鹿児島県バス運行対策費補助金交付要綱並びに阿久根市地域間幹線系統確保維持補助金交付要綱により、南国交通に補助するものであります。平成26年度予算につきましては、平成24年度以前の3年間の収支決算をもとに算定したものであり、水俣線、佐潟口から水俣車庫まで。空港線、阿久根市役所から鹿児島空港まで。阿久根新港線、隈之城から阿久根新港の3路線について補助するものであります。

小規模事業指導業務120万円は、阿久根商工会議所が小規模事業経営者の総合的な改善発達を図るため、中小企業相談所を設置し経営指導員が相談指導する事業に対して補助するものであります。主な事業内容としましては、経営に関すること、金融・税務に関すること、労務対策に関すること、調査広報に関することとなっております。また、地域づくり活動支援事業につきましては、通り会等が地域づくりのために実施するイベント等に対し、限度額20万円を補助するものであり、2件分を計上したものであります。市中小企業振興資金利子補給金等につきましては、市内商工業者及び加工業者に、長引く景気低迷に対応するための助成制度であることから、融資期間及び融資額の増額について平成26年度まで延長しておりますので、有効に活用していただくよう周知していきたいと考えています。なお、市中小企業振興資金保証料は、資金の借りに伴う保証料の25%を補助するものであり、市中小企業振興資金保証料は、融資から1年以内は全額、2年目以降は25%を補助するものであります。92ページをお開きください。21節貸付金4千万円は、市中小企業振興資金の借りに伴う円滑にするため、4金融機関へ1千万円ずつ預託するものであります。なお、金融機関は、預託金に当該預託金額の2倍以上の自己資金を加えた額を中小企業者に融資することとなっております。

次に、3目観光費であります。予算額は6,624万8千円であり、前年度と比較しますと2,087万9千円の増であります。増額の主な理由は、にぎわい交流館阿久根駅指定管理業務及び阿久根大島のシロアリ駆除業務の委託料が発生したことによるものであります。それでは、各節ごとの主なものを説明させていただきます。7節賃金18万6千円は、大島のバンガロー等の塗装など、当課が所管する財産等の補修時に要する賃金であります。9節旅費57万2千円は、観光宣伝、観光客誘致活動及びえびの市や多良木町との交流等のための旅費が主なものであります。11節需用費545万6千円は、うに井・伊勢えび祭りの消

耗品等及び観光パンフレットの増刷、阿つくんグッズの購入、その他、大島渡船場、脇本・大川島両海水浴場の電気料及び水道料、阿久根大島公園の薬注ポンプ、バンガローA・B棟の畳貼りかえ、シャワー修繕等のほか、当課が所管する財産の通常修繕費等を計上しております。12節役務費196万2千円は、郵便・電話料と各施設の建物総合損害共済費ほか、はな・HANA・華祭りやみどこい祭り等のイベント及びうに井祭り・伊勢えび祭り、海水浴シーズンにおける海開き等の情報を発信するための広告宣伝料とハッピー等のクリーニング料が主なものであります。13節委託料3,873万9千円は、予算書に示してあります11件分の委託料であります。委託料のうち大島公園管理業務は、指定管理者であります日本水泳振興会に支払う管理業務委託料であり、平成24年度から平成28年度の5年間であります。大島公園用水運搬業務は、阿久根大島への水運搬業務の委託料であり、今年度は2,300トン进行予定しているところであります。海水浴場管理業務は、脇本海水浴場及び大川島海水浴場2カ所分の海水浴シーズン中の監視を含めた管理業務委託と脇本・大川島海水浴場のトイレ並びに旧港トイレ清掃業務委託料であります。

シロアリ駆除業務につきましては、大島公園のバンガローA・B・C棟及びシャワー室及びトイレのシロアリの駆除するものであります。また、観光PR業務につきましては、イベントの公開生放送のほか、年間をとおして阿久根市で行われるイベント情報の告知やみどこい祭り、うに井祭りなどイベントごとに番組生出演、あるいは、レポーターによる生出演による生中継によりPRするものであります。商品開発業務につきましては、新たに阿久根市のゆるキャラ、阿つくんグッズを作成し、阿久根市のPRを図るものであります。また、現在、阿つくんは1体ありますが、各地区のイベント、施設等のイベントでの借用も多くなっていることから1体追加するものであります。今後もいろいろなイベント、観光宣伝、物産展等におきまして、阿つくんを活用し阿久根市をPRしたいと思っております。にぎわい交流館阿久根駅指定管理業務につきましては、阿久根市の観光拠点として情報を発信し、市民の憩いの場として、また、交流人口の増加を図ることを目的に肥薩おれんじ鉄道株式会社を指定管理者として委託するものであります。阿久根大島発電機室改修等設計業務委託は、大島の発電機施設について、古い発電機は平成3年に購入し23年が経過しており、老朽化していることから、買いかえることとしていますが、現在の発電機室では、狭いことや換気扇の設置もなく、築23年が経過し台風等による損傷もあることから、発電機の選定、搬入、設置方法も含め、発電機施設の設計業務を委託するものであります。14節使用料及び賃借料47万1千円は、海水浴場駐車場等の賃借料と大川島・脇本海水浴場にAEDを配置するためのリース料及び海水浴場清掃時の重機借り上げ料が含まれます。15節工事請負費229万円は、阿久根大島行渡船場待合室に空調機を設置するものであります。これまで、待合室に空調設備がないことから、船の出発まで車の中でエンジンをかけて待っておられる観光客が多かったことから、待合室に空調設備を設置することで、大島に渡られる観光客の皆さんが待ち時間を快適に過ごすことができると考えます。18節の備品購入費59万4千円は、阿久根大島医務室の空調機及びビーチハウスに音響設備を設置するものであります。19節負担金補助及び交付金1,582万6千円は、予算書に示してあります5件の負担金と5件の補助金であります。観光連盟「阿久根まちの駅」の補助金400万円は、観光連盟が行う観光宣伝活動や運営に対する補助金であり、県内外での物産展を初めとする特産品販路拡大、観光宣伝・観光客誘致活動及び観光イベントの情報発信等を行うために補助するものであります。阿久根みどこい祭り補助金550万円は、昨年より30万円増額となっておりますが、踊りについては、国道3号において肥薩おれんじ鉄道あくね駅前から出発する予定であることから、警備員や迂回路の看板設置等に係る費用もふえることから増額したものであります。

みどこい祭りにつきましては、先の一般質問でもありましたとおり、秋の開催が実行委員会で決定したことから、内容につきましては今後、実行委員会で協議してまいりたいと考えております。なお、踊り連等の参加団体へのアンケート調査につきましても依頼文を送付したところであり、今月末までには集計ができるかと考えております。阿久根大島航路運行事業補助280万円は、海水浴シーズン期間中までに阿久根大島の往復運賃について大人800円を600円に200円の補助。子供400円を300円に100円補助するものであり、大人12,500人、子供3千人を見込んでいるところであります。

地域資源の魅力情報発信事業120万円は、水産研究会が水産振興センターで毎月第2日曜日に開催する新鮮朝市、鹿児島いずみ農協青年部三笠支部がAコープ三笠店駐車場で毎月第3日曜日に開催する旬の朝市、くあからんじょふるさと市実行委員会が広域農道広場で毎月第4日曜日に開催するくあからんじょふるさと市に補助するものであり、地域の農水産物を食材とした試食品をお客様に提供し、本市の季節ごとの農水産物の魅力を広く情報発信するものであります。また、第2回目となる阿久根はな・HANA・華まつりは、ことしは、番所丘公園で開催されますグリーンフェスも含めて、阿久根はな・HANA・華まつりとして、5月のゴールデンウィーク期間中の2日金曜日は駅前通り会の前夜祭、3日は各通り会でのイベント、4日と5日は番所丘公園でグリーンフェスを開催することに実行委員会で決定したところであります。昨年は天候にも恵まれ、多くの市民や観光客でにぎわうことができました。この祭りの目的としましては、観光業の活性化を図ることはもちろんのこと、交流人口の増加を図るためのものであり、5月の連休中はウニ井祭りも開催していることから、多くの観光客が訪れると予想されます。また、阿久根市に訪れる観光客の方々に阿久根市を歩いていただき、阿久根のよさをアピールしていきたいと思っております。

4目企業立地対策費は、56万6千円であり、昨年と比較しますと3万5千円の増となっております。9節旅費35万3千円は、企業誘致業務の旅費であります。11節委託料11万7千円は、企業調査業務の委託料であります。以上で歳出の説明を終わります。

次は、歳入について御説明いたします。予算書20ページをお開きください。12款1項5目1節商工使用料51万3千円の内訳は、温泉使用料2件分10万円、大島公園の自己テント使用料3千円、大島渡船場の使用料41万円であります。次に28ページをお開きください。14款3項6目1節商工費委託金12万円は、商品量目検査事務費及び自然公園法並びに県立自然公園条例に係る事務費等の権限移譲に係る委託金であります。31ページをお開きください。19款諸収入3項3目1節商工費貸付金元利収入4千万円は、市中小企業振興資金預託金の元金4千万円であります。

32ページをお開きください。5項4目雑入20節雑入の一行目、雇用保険料114万2千円のうち当課所管分は、消費生活相談員1名と臨時職員1名分の1万5千円であります。下から4行目の大島渡船場光熱水費18万7千円は大島渡船場の電気料と水道料で、基本料金は市が払い、使用料を南国海運から雑入として受け入れるものであります。33ページ上から4行目の原子力立地給付金の中に、当課所管分の大島渡船場分3千円が含まれております。

以上で商工観光課所管分の平成26年度当初予算説明を終わりますが、答弁につきましては、私及び課長補佐で答弁させていただきますのでよろしくお願いいたします。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

牛之濱由美委員

93ページ、7款1項3目地域資源の魅力情報発信事業というのは、毎年上がってくるわ

けなんですけども、補助先のまずは内訳をお願いいたします。内訳がわかるようでありましたら。

[牛之濱由美委員「すみません。19節の負担金及び交付金でした。申しわけありません。その中の地域資源の魅力情報発信事業ですね。」と呼ぶ]

小牟田商工観光課長

地域資源の魅力発信事業、これにつきましては、水産研究会ですね、三笠支所の青年部ですね、旬の三笠のAコープであります旬の市で、鹿児島いずみ農協の青年部三笠支所であります。支部であります。それから、かからんじよの実行委員会であります。

牛之濱由美委員

補助金といますか、内訳金額等はそれぞれ違うんですかね、わかりましたら。

小牟田商工観光課長

水産研究会が60万円。それから、かからんじよと三笠の青年部は各30万円であります。

牛之濱由美委員

これの算定基準は何かあったのでしょうか。

小牟田商工観光課長

これにつきましては、当初、九州新幹線が開通のときに県の事業で地域活性化を図るために、何か補助金が県の事業があったと聞いております。60万、60万の120万で当初、水産研究会と協本の鹿児島いずみ農協青年部の旬の朝市にそれぞれ60万ずつの予定であったというようなことだったと聞いておりますが、青年部三笠のほうで、60万は使い切れないというような、何かお話があったというようなことで、30万にして、次、かからんじよが第4週目に市を開催をするというようなことで、かからんじよのほうに30万円を補助をするようになったというふうに聞いております。補助金自体は、その1年間だったんですけど、好評であったと、試食品を提供する材料代等に使われるんですけど、好評であったということで、ここ2年間ですね、使われているということです。

牛之濱由美委員

それではですね、今後、今の課長の説明でえらい好評であったということで、ほかのこういう事業団体といますか、そういうところからうちも欲しいんだというような申し入れ等はないですか。

小牟田商工観光課長

今のところないです。

[牛之濱由美委員「了解しました。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

中面幸人委員

予算書の92から93ページにかけてです。7款1項3目19節、阿久根市観光連盟あくねまちの駅について、お伺いいたします。400万の補助の中に連盟の運営費等が組み込まれているということでございますけども、現在の事務所の位置、それとそこなんかの従業員というか、その構成について説明してください。

小牟田商工観光課長

現在、事務所につきましては、まちづくり公社の事務所に一角部屋を借りております。それから職員につきましては、現在ですけれども、

[発言する者あり]

現在、職員を2名、それから臨時で2名、事務局長として商工会議所の事務局長が兼務を

しているところであります。

中面幸人委員

最初の発足時から事務局（聴取不能）として、商工会議所のほうから出向というんですかね、そういう形で来ていらっしゃると思うんですけど、今後ですね、やはり、交流人口をふやすためにですね、ほんとの組織というのは大事であるかと思うんですよ。そういう中で、やはり、まちの駅独自の、独自で例えば、そういう事務局長みたいなのをですね、雇い入れて本格的にやっていくというふうな、そういう姿が私は望ましいかと思うんですども、そういうところの所管としてですね、どの程度までまちの駅にですね、指導とかいうのをしているのか教えていただきたい。

小牟田商工観光課長

確かに商工会議所のほうから、来年度につきましては事務局長の兼務ができないというようなお話がありまして、今、県の事業を直接まちの駅が県から委託をされている、2月からだったんですけど、来年の1月まで事業を委託をされておりまして、その中に職員を一人採用をしております。その方をちょっとおもてなしの研修であったり、観光宣伝であったりというようなことで実際に事業を進めてもらおうということで考えているところであります。その方ができれば、あと理事会とかそういったようなものの承認も、総会とかの承認もいりますので、あとはまちの駅の方々の考えなんですけども、その方がきちっとやってもらえれば、私もいいかなというふうには考えているところです。

中面幸人委員

やはりですね、今阿久根はまちづくりにですね、大きな事業に取り組んでいるわけですが、当然、今、ことしの、今月末には、阿久根駅舎も工事も終わるわけなんですけど、所管としてですね、この道の駅に対してですよ、今後、どのような指導をしていくとか、計画とかですかね、そういうのを考えていらっしゃるのか、ほとんどまちの駅に任せておくのか、その辺あたりの所管としてですね、どういうふうに考えていらっしゃるのかお聞きいたします。

小牟田商工観光課長

確かに言われるとおり観光案内所が、ビゴップを始め駅のほうにもできます。観光案内につきましては、当然まちの駅の業務でもあり、していかなければいけないかと。まちの駅の方々には、特に県内外での観光PRであったりとか、観光客の誘致活動といいますか、旅行会社を回って阿久根に来てもらう、そういったような部分、イベントあるいはウニ井祭りであったり、そういったようなものの観光宣伝であったりとか、外のほうにどんどん発信をしてもらうというようなことで、また含めて中で、駅舎のほうとかビゴップさんのほうの北薩情報ステーションですか、とかというのはまたそれぞれこの店は、どこですか、何を食わせるかはどこですかといった案内は、そういうところでもいいんですけど、もっと県内外にですね、発信ができるような活動をしていただければというふうに考えております。

中面幸人委員

最後になりますけど、この観光連盟とですね、例えば先ほど言われたビゴップありますよね。これなんかの連携というのはとれているのか。当然、連携がとれなければならないと思うんですけども、その辺あたりはどう感じていらっしゃいますか。

小牟田商工観光課長

確かに、今観光というのは体験型観光が主流になってきているというようなこともございますので、ビゴップさんとは連携をとりながらですね、いっていかなければいけないかと思っております。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

竹原恵美委員

先ほど6番議員も言われた93ページの地域資源の魅力情報発信事業です。これはほかからは問い合わせはないというように言われたんですけども、情報発信というポイントにおいては、ほかの事業というかほかのアイデアも発信させてこそだと思んですけど、もともとこの事業、ほかにも紹介はされているんですか。紹介をして広げていこうといふふうに思っているのか、今3団体に対してやりとりが繋がって繰り返し行われているだけで、ほかに広げようという作業は積極的に行っているのでしょうか。

小牟田商工観光課長

先ほど言いましたとおり、3年前にできた補助金で今つながってきているというようなこと、継続をされているということで、確かにほかの、例えばほかのところでそういう活動をしたからというようなことで要望等があったときにはどうするかというようなこともあるかと思いますが、今後それについては予算等の関係もございますので、検討していきたいというふうに考えます。

竹原恵美委員

この事業は発信していこう、もちろん新しいアイデアもどんどん発掘しては、それを出していくということも一つの作業だと思うんですが、試供品というか試食に対して支えるというふうにご利用されているようですけども、ある程度軌道に乗ったら事業というのは、利益のためのスタートは発信ですからそれぞれは。軌道に乗ったらまた、こちらがまる抱えをするのではなくて、新しい事業に対しての紹介にまたつなげていく、次の方にバトンを渡していくという作業も必要かと思うんですけども、もともとこの考え方が今の継続でよいのか、よいいという作業の考えで、あまり外にその3団体以外は広めていないのか、そういう考えでは、アイデアはないんでしょうか。今言われたのは3団体とただつながっているんですけども、基本的にこういう事業というのは、軌道に乗ったら次の団体なり、次のアイデアにバトンを渡していく、そうやって情報発信をふやしていく、同じ手法を同じ支え方をし続けるのは、ふえていかないんですよ。だからといって事業費をどんどんふやすかって、そういうことにもなりえないので、バトンを渡していくという考えをもった運営ももっていただきたい。広げること、また軌道に乗ったら手を抜いて渡していただくこともベースにもってください。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

要望でいいですか。

[竹原恵美委員「はい」と呼ぶ]

ほかにありませんか。

野畑直委員

91ページの7款1項2目19節の負担金のところですが、出水駅蔵之元間シャトルバス利用促進協議会の阿久根市の負担金が125万7千ということで予算ですが、あと天草、長島、出水といろいろ言われましたけれども、ここの負担額とその負担の積算方法がわかったら教えてください。

小牟田商工観光課長

まず、負担金でありますけども、天草市が1,066万8千円、阿久根市が125万7千円、出水市が226万9千円、長島町が140万6千円であります。あと、補助金につきましては、運送搬入あるいは運行、収益と経費ですね、経費である面、負担をしているという

ようなことでありますけれども、運送収入を1便当たり平均乗車人員、平均運賃収入見込等を計算して、26年度につきましては、684万3,750円の収益を見込んでいるところです。それから、経費につきましては、人件費あるいは燃料、車両の償却、修繕で1,478万6千円を計上しているところです。それから、委員長すいません、計算方法につきましては、ちょっとここの数字と若干、中身についてちゃんと確認をさせていただきます。

野畑直委員

計算の方法については、後でよろしいですよ。しかしながら、どういうあれで負担になっているのかというのを知っとくべきかなと思ったので聞きました。これでいいです。オーケーです。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

出口徹裕委員

91ページ7款1項2目13節の地域メディアプロデューサー育成事業についてなんですけども、これは単純に考えたときにホームページの作成をアドバイスするという形になるかとは思いますが、その後、これを行った後に市としてどのような形で、ただ指導して自分たちで広めていってくださいますのか、それとも何らかのホームページの共通したところをつくって広めていくつもりであるのか、そこらについてお聞かせください。

小牟田商工観光課長

まず、この事業につきましては、そういう映像技術をば、その事業者あるいは個人の方々、個人の事業されている方に学んで習得してもらおうと、商品であったり会社であったり、そういう部分について、今商品も単にチラシに入れたりとかいう部分ではなくて、その物をば、映像でもってそういう技術を身につけて、インターネットで発信する技術を身につけてもらいたいというのが一つの、その技術をうまく活用して利益を上げてもらいたいということが、あと、行政といたしましても個人のお店をば、それぞれそういう部分でというのはなかなかなんですけども、阿久根市としては、そういう阿久根市の観光であったりとか、特産品を全体的な部分で流すときには、そういうものをばですね、活用といいますか、うちの職員も一緒に講習を受けていただいて情報の発信をしていきたというふうには考えているところです。

出口徹裕委員

とりあえず勉強会という形なんですかね。これ予算が載ってないので、予算的には出せない部分というふうに捉えて予算が載ってないんですかね。

[発言する者あり]

この講師についてなんですけども、どういったような方が、例えばここの地元の例えばパソコンに詳しい人だけがかかるのか、それとも何らかの、なんて言うんですかね、そういうPRする方、チラシをつくる何か有名な人たちが居たりすると思うんですけども、そういったような方が来て、数回にわたりするのか、1回で終わるのか。

小牟田商工観光課長

これについては、映像情報士という映像の何か技術、資格、資格なのか、特別なそういう技術をもった方がおられると。協会が、NPO法人の協会があって、そういう技術をもっておられるというようなことで、講義としましては150分のだいたい5回を予定をしているところです。特定非営利活動法人、映像情報士協会というところがあるものですから、そこに委託をしたいというふうに考えております。

出口徹裕委員

その150分の5回というのは、同じ方が連続して150分の5回を受ける、それとも、

150分というのをそれで全部を完了として、例えば何名かわかりませんが、例えば20名であれば、100人分なのか、それとも20人分なのか、どちらですかね。

小牟田商工観光課長

同じ方が受けてもらおうと、1回でという、5回を一つの期間ということ。

出口徹裕委員

次に92ページ、7款1項3目13節の商品開発の阿っくんの商品開発についてなんですが、ストラップ等も何か試作でつくってあったような気がしますけども、これについて阿っくんのものの著作権といいますか、この権利というのは、補助事業という形ではないので、じゃなくて、業務ということになるのか、どうなのかちょっと理解ができてないのですが、開発業務となると著作権というのが市のほうに出てくるのかと思いますが、その後、これをした後に、売り出した後に、例えば市として収益が入ってくるものなのかどうか、お聞かせください。

小牟田商工観光課長

今のところ販売をしておりませんで、今、観光PRのためにお配りを、子供たちであったりしているところで、歳入は今のところないです。

出口徹裕委員

これははっきりですね、ある程度最初に位置づけをしとかないといけないものだと思うんですよ。どういったような形で使うのか、例えば、商店、いろいろな形で阿っくんのイラストを載せていいですよとした場合に、ただ単純に勝手に引用していいものなのか、それとも市のほうに届けなくてはいけないものなのか、また商標登録する際においては、幾らかのお金が発生するのか、そういったようなところまで現在、これ決めてないということですか。

小牟田商工観光課長

今ですね、できれば、例えばいろんなところで、くまモンであったりもそうなんですけど、使って、逆に言えば使ってもらって、阿久根市が有名、名前が上がってくればいいかなと。まちの駅あたりの収益にでも、まちの駅さんがつくって販売をされて、まちの駅の収益になるとかっていう部分については、それはそれでいいのかなと。市の今のところ、市に歳入としてというのはちょっと考えていないところでもあります。

出口徹裕委員

ちょっと詳しくは覚えてないんですけど、くまモン自体も確かお金は取ってないにしても、多分商品にする際には届けがあるんじゃないかと思うんですけども、そこらについて、何らかの形を決めておかないと、例えば、今そういう形で利用をするというのに、何ですかね、いい商品が出回るのはいいかと思いますよ、ですが、悪い何かのきっかけが商品が出た場合には、阿っくんがあったばかりにマイナスイメージになる可能性があるんですけど、そこら管理されてないんですかね。

小牟田商工観光課長

今のところ阿久根市でしか使ってないと。今後、ほかのところの方々がさせてくれという場合には、当然、こちらのほうでそういったような部分については、きちっとやっていかなければいけないかと思います。

出口徹裕委員

これはですね、最初の今の段階からやるべきですよ。使っていても、やはり登録をしておかないと。さっきの事業ではないですけど、前からやってたからという形になってしまうと、広まってからじゃもうとても面倒だという話になってしまうんですよ。ですから、しっかりその使う方法というのは、しっかり考えて登録するのであれば、どういったような形でど

こが使ってる、それについては、ちゃんと認め、お金は発生しなくても使うということは、認めてますよというところをしっかりとっておかないと、ほんとに悪いイメージが逆に出てくる可能性があるんで、そこらは早めに検討してみてください。以上です。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

石澤正彰委員

最初、尋ねようと思ったんですが、出口委員のほうから90ページの1項13節委託料の中で、地域メディアプロデューサーというのがありましたですね。これは人数は何名で、どういった人に受講をさすのか、そこを教えてください。

小牟田商工観光課長

今のところ約20名ぐらいと。対象者については、そういう事業をされている方、製造業であったりとか、そういう個人のお店をされている方でも、そういう方々です。

石澤正彰委員

要するに御商売をおやりになっている方が、結局このカッコいい名前の地域メディアプロデューサーという、その資格があるのかないのかわかりませんが、そういう研修というか講習を受講されるわけですね。そういう人たちが受講されて片手間になりませんか。

小牟田商工観光課長

その事業主さんというわけではなくて、事業主さんが雇っておられる方でもいいかと思うんですけども、その事業されている方が、とにかく自分の会社あるいは自分がつくりだしている特産品であったり、商品を、その映像技術をもって広くインターネットで発信をして販路の拡大であったりとかできれば、それがいいのかなというふうに（徴収不能）。

石澤正彰委員

職員は入らないんですか。

小牟田商工観光課長

職員も当然入りますし、また、できれば鶴翔高校の生徒さんであったりとかという、今、なんですか、市のコマーシャル等もあります。そういうことをつくっておられますので、入ってもらえればというふうに考えております。

石澤正彰委員

職員は何名ほど今課長は思っておられるんですかね、予定は。ここの職員、市の職員の話ですけど、どこの。

[小牟田商工観光課長「市の職員ですか。」と呼ぶ]

じゃなくて、職員はどここの職員ですか。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

募集する対象者に市の職員も考えているのかという質問やっど。

[小牟田商工観光課長「市の職員もということなんですか。」と呼ぶ]

[石澤正彰委員「そういう意味で聞いたんですけど。」と呼ぶ]

小牟田商工観光課長

できれば、広報の担当が受けてもらえれば一番いいのかなというふうには考えますけども。

石澤正彰委員

課長、わかりました。できたら阿久根市の職員もですね、受講していただいて指導的立場ということが出てくるわけですから、ぜひお願いしたいなと。せっかくお金を払ってね、受講に行っていただくわけですから、実のあるものにしていただきたいなと思いますので、お願いいたします。

もう一つあります。92ページのですね、3目1節報酬のこの観光開発審議委員会委員9名、この審議会ということの意義と審議委員のお名前9名ですね、教えていただきたい。

小牟田商工観光課長

観光の観光審議開発条例というのがございまして、設置につきましては、阿久根市の観光に関する重要事項を調査、審議するため、阿久根市観光審議会を設置するというので、観光地の選定及び観光開発の計画の策定に関する事項、あるいは観光道路、公園、その他観光施設の計画の樹立に関する事項、あるいは観光事業と他の産業との調製に関する事項というようなことで、そういう審議会というところで設置をされております。委員につきましては9名ということなんですけども、委員につきましては審議会は関係団体の役員あるいは学識経験者ということで、20名以内というふうになっております。この審議会につきましては、平成19年度に1回開催をしております、その以降、開かれていないところであります。26年度につきましては、大島公園の整備であったりの報告等やらあるものですから、26年度には役員の方をお願いして会議を開催したいというふうに考えております。委員につきましては、観光連盟の理事長であったり、副理事長、あるいは旅館部会長であったり、まちづくりの公社、日本水泳振興会であったり、青年会議所、商工会議所の青年部、あるいは女性部と。市につきましては副市長をというふうに考えているところです。

石澤正彰委員

19年は、2回と私聞こえたんですが、間は全然なくてですね、当然、小さい話ですけども報酬も支払わなかったということだと思んですが、26年度は開く予定だと。私が申し上げたいのはですね、毎回、毎回、こういう審議委員とか何やら委員とかいうのは、本当に似たようなメンバーでですね、そういう相も変わらず、こういう方たちがですよ、今まで過去に永遠とおやりになって、本当にこれはすばらしいなという、どういうんですか、実績が出てきたのかなという、けちを付けるわけではないですけども、できるだけ年齢の若い方ですね、学識経験者とか何とか、そういったことも必要かもわかりませんが、もっと入れていただいて、話し合いをするほうがいいんじゃないかなと思いますが、課長はどういうふうにお考えですか。

小牟田商工観光課長

確かに若い方々の意見を聞くということも大事だと思います。商工会議所の青年部長であったり、女性会であったりっていうようなことで、そういう方々に委員としては出ていただきますけども、その委員の方がまた、下の意見を聞いてもらって話をしていただければというふうに考えるところです。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

牟田学委員

91ページのですね、7款1項2目の19節負担金のですね、阿久根市地域間幹線系統確保維持補助事業なんですけども、昨年からすれば予算が約2倍になっております。これはどうということですかね。

小牟田商工観光課長

話を聞きますと、先ほども言いましたとおり、3年間の平均をとって算定をされるということで、25年度から阿久根市は、阿久根新港と隈之城線がふえてきております。その前は2カ所だったということで、1カ所系統もふえてきているということで、ことしの場合は24年度から3年間さかのぼって計算をしてされるというようなこともございまして。あと、油代であったりとか、どうしても乗車人員ですか、この平均を見ますと、だいたい阿久根市

の系統でだいたい4名ぐらいしか乗っていないというような状況もあるようでございます。

牟田学委員

これは乗合タクシーには全然関係しないんですかね。結局、乗合タクシーでそれを利用して、こっちのほうが利用者が少なくなったということとは関係ないんですか。

小牟田商工観光課長

乗合タクシーで乗られてバスのところで、バスに乗られれば当然多くはなるかと、この部分については、国土のところ、あるいは出水にしてもそうなんですけども、巡回バスであったりとか、そういったようなことで、それぞれの市町村が地域の方々のためにサービスをされる、そうなるとなかなかまた南国さんにとっては乗られる方が少なくなっているというのもあるし、また、今やはりもともとは車社会でありますので減ってきているというのは現状かなというふうには言って（聴取不能）。

牟田学委員

何か、乗合タクシーで客をとられたからというのも考えられないのかなと、それはそれでいいです。

もう一つ、その上なんですけど、空き家店舗対策事業というのは、具体的にどういうことをするんですか。

小牟田商工観光課長

これにつきましては、阿久根市商店街活性化対策事業補助金交付要綱に基づきまして、その中の補助金、空き店舗活用事業補助ということで、空き店舗を活用する、賃借料について補助をします。家賃の補助であります。

牟田学委員

個人でですよ、ここが空いている、ここを借りたいなというときには、中にはいつて仲介をしてくれるんですかね。

小牟田商工観光課長

これについてはですね、通り会というふうになってますね。通り会が申請をします。

牟田学委員

もしですよ、個人で借りたいというときには、通り会に相談すればいいんですかね。

小牟田商工観光課長

この本によりますと、要綱ではですね、申請をするのが通り会というふうになってます。商工の組合であったり、商工会議所であったりとか。

[牟田学委員「了解。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

竹原恵美委員

92ページです。7款1項3目13節委託料なんですけど、3,873万9千円。昨年と比べて1,700万円ほど増額かと思えます。そのどのような差があってこれだけの増額になったのか。また、先ほど説明の中で阿っくん1体つくるという話もありましたけれども、その1体幾らでしょうか、教えてください。

小牟田商工観光課長

委託料につきましては、先ほども説明しましたようににぎわい交流館の阿久根駅舎の管理とシロアリ駆除等も出て（聴取不能）、商品開発も新たに出てきてるんですけども、阿っくん1体の金額、最初つくったときの製作をしたときの、ちょっと資料がないんですけども、だいたい60万くらいだったかというふうに、

[竹原恵美委員「1回目。」と呼ぶ]

1体がです。補助事業であれば（聴取不能）。

[竹原恵美委員「60万。はい。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶする者あり]

なければ、議案第号23中、商工観光課所管の事項について、審査を一時中止いたします。この際、暫時休憩します。

（休憩 11：10 ～ 11：20）

（都市建設課 入室）

予算特別委員長（岩崎健二委員）

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次に、議案第23号中、都市建設課所管の事項について審査に入ります。

都市建設課長の説明を求めますが、説明は所管の予算内容、新規事業等について、簡潔明瞭をお願いします。

飛松都市建設課長

それでは先の本会議におきまして、当初予算特別委員会に付託になりました、平成26年度一般会計当初予算のうち、都市建設課所管の主なものについて御説明申し上げます。まず初めに予算書の10ページをお願いいたします。

第3表地方債であります。上から3行目市道新設改良事業から、11ページの1行目、公営住宅改修事業までのそれぞれの事業について、起債により事業費の一部に充てようとするものでございます。

次に、予算に関する説明書により歳出から御説明いたします。まず初めに、予算書の94ページをお願いします。8款土木費1項土木管理費1目土木総務費は、職員13名の人件費と土木事業全体に共通する事務的経費が主なものでございます。13節委託料61万円は、土木積算システムソフトウェアの保守点検の委託料であります。14節使用料及び賃借料93万9千円は、同じく土木積算システムソフトウェア、ハードウェア及び複写機の使用料であります。

次の2項道路橋りょう費1目道路橋りょう総務費の1節報酬350万2千円は、用地事務嘱託員2名分で、2節から4節は職員4名分の人件費であります。7節賃金141万6千円は、道路台帳整備事務補助職員1名の賃金であります。8節報償費444万2千円は、市内各区で実施されている市道清掃に対する謝金でございます。次の95ページ、13節委託料の主なものは道路台帳整備業務で、経年変化路線3,500メートルと直営台帳図の修正6,000メートルを計画しているものでございます。17節公有財産購入費50万円は、道路等の境界確認で発見された道路の一部が、民地を侵している箇所用地購入費であります。19節負担金補助及び交付金26万7千円は、広域的道路に係るそれぞれの協議会等に対する負担金であります。次の2項道路橋りょう費2目道路維持費は、市道の維持修繕費用であり、計画的、効率的に執行することといたしております。1節報酬373万円は、道路作業指導等嘱託員2名分であり、道路等の作業時における作業の適切な指導監督を行い、安全に速やかな補修の実施を図ります。4節共済費232万4千円は、道路作業指導等嘱託員2名と道路作業員6名分の健康保険料および厚生年金、雇用保険料であります。7節賃金1,0

24万8千円は、道路作業員6名分の賃金であり、小規模の道路補修等を速やかに実施し、通行の安全を図りたいと思っております。11節需用費75万4千円は、作業員が使用する刈払い機やチェーンソーのかえ刃、安全対策用の杭やロープ、機械の燃料費等が主なものでございます。次の96ページ、13節委託料2,676万円につきましては、市道伐開委託費、補助事業の社会資本整備総合交付金事業に伴います測量設計調査業務委託、同じく建物等調査委託、市単独事業維持修繕事業に伴います測量設計業務委託費であります。14節使用料及び賃借料の79万7千円は、市道における崩土除去等の機械借り上げ料59万7千円と、地元が行う里道等の改修事業用原材料提供に伴う機械借り上げ料20万円であります。15節工事請負費1億8,430万6千円は、市民からの要望を踏まえ、緊急性や重要性、効率性を評定し、側溝改修、舗装補修等を計画的に実施し、通行の安全を確保するための市単独事業の道路維持修繕事業道路改修工事費の1億円と、補助事業の社会資本整備総合交付金事業を活用して行う市道高之口佐潟線、折口本線、春畑線、牧内桑原城線の舗装事業費8,430万6千円であり、国の補助率は60%であります。これらの事業を実施することにより、道路の機能拡充と通行の安全向上が図られるものと考えております。16節原材料費370万円は、道路補修用資材のアスファルト合材、側溝蓋版、土のう、セメント、切込砕石などが主なものであります。17節公有財産購入費492万9千円は、市単独事業の道路改修工事に伴います槁之浦本線の用地購入費1筆54平方メートル47万8千円と、浜町河畔線の用地購入費1筆147.3平方メートル427万3千円と、補助事業の高之口佐潟線舗装工事に伴います用地購入費2筆、208平方メートル17万8千円であります。18節備品購入費13万6千円は、草払機及び研磨機等の購入費であります。22節補償補填及び賠償金235万5千円は、市単独事業の道路改修工事に伴います槁之浦本線の生垣等の立木補償費40万円と補助事業の高之口佐潟線舗装工事に伴います、イヌマキ47本、スギ11本の立木補償費195万5千円であります。次に、8款土木費2項道路橋りょう費3目道路新設改良費であります。尾城線、槁之浦深田線、折口大辺志線の道路改良事業は、社会資本整備総合交付金事業を活用して行うもので、国の補助率は60%であり、残りの40%を過疎対策事業債で充当する予定でございます。また、中央線大川の道路改良工事は、過疎対策事業で行う事業でございます。13節委託料の4,364万4千円は、市道槁之浦深田線の延長360メートルの地質調査測量設計と折口大辺志線の延長1,390メートルの測量設計委託費、そして尾城線の補償調査時点修正業務であります。15節工事請負費8,662万円は社会資本整備総合交付金事業で、市道尾城線道路改良舗装工事を延長276メートル、流末排水工事187メートル及び工事区間の法面工事を施工する予定でございます。また、中央線大川では、延長127メートルの改良舗装工事を過疎対策事業で計画しております。事業効果としまして、道路幅員が広がり歩行者の安全が図られるとともに、通行しやすい道路として、地域住民の利便性の向上や緊急時に対応できる道路としての機能拡充が図られると考えております。17節公有財産購入費417万3千円は、中央線大川改良工事に伴う用地測量費を2筆で237平方メートル148万8千円と、尾城線改良工事に伴います用地費12筆1,973.47平方メートル268万5千円であります。次は97ページをお願いいたします。22節補償補填費及び賠償金の2,884万4千円は、中央線大川改良工事に伴う工作物補償費494万2千円、1棟の建物補償費2,365万6千円、尾城線における立木補償費24万6千円であります。次の4目橋りょう維持費の13節委託料は、市道として管理します226橋の橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化等で改修を必要とします橋梁の改修設計の委託であります。この事業につきまして社会資本整備総合交付金事業を活用して行うもので、国の補助率は60%であります。次の6目交通安全施設整備費の15節工事

請負費は、ガードレール145メートル、区画線8,600メートルなどの設置を行い、事故防止に努め通行安全を図ります。16節原材料費67万7千円は、見通しの悪い危険箇所直営で設置するロードミラー20基の購入費用であります。次の8款土木費3項河川費2目河川維持費の13節委託料150万円は、雑木竹などが繁茂し洪水時等に危険が予想される河川の伐開費用であります。14節使用料及び賃借料100万円は、河川浚渫等の機械借り上げ費用であります。15節工事請負費565万3千円は、阿久根市が管理する準用河川新田川の護床工21.5メートル、大下川の護岸工31.4メートル、普通河川南畑川の護床工25.0メートルにおいて、河川の維持工事を行うものであります。次の4目砂防費13節委託料の97万2千円は、平成23年度に被災した弓木野地区と平成24年度に被災しました倉津地区の急傾斜地崩壊対策事業で施行した箇所の用地測量の費用であります。14節使用料及び賃借料の10万円は、砂防事業や災害時で使用する機械借り上げ等の費用であります。15節工事請負費の128万6千円は、倉津地区23.0メートル、田ノ口地区26.0メートルの防護柵と黒之浜地区の鋼製蓋版の取りかえ44枚の費用でございます。

次の4項港湾費1目港湾管理費は、市が管理する八郷港、小漣港、大漣港、高之口港、4港の維持管理費であり、11節需用費の15万円は、標識灯の電球取り換えなどが主なものでございます。次は98ページをお願いいたします。15節工事請負費の50万円は、小規模の維持修繕に係る工事費であります。次の8款土木費5項都市計画費1目都市計画総務費の1節報酬6万5千円は、都市計画審議会委員の出席報酬で7名の2回分であります。9節旅費32万7千円は、南九州西回り自動車道、北薩横断道路建設促進機関関係等における国土交通省及び中央要望等の費用でございます。11節需用費18万6千円は、潟排水機場等の電気料及び燃料代、修繕費が主なものでございます。12節役務費1万8千円は、屋外広告物関係の郵便料が主なものであります。13節委託料は、昭和51年2月作成され、平成6年3月に経年変化等の修正を行っております、都市計画基本図を新たにデジタル方式により作成する都市計画基本図作成業務と潟排水機場保安管理業務の費用であります。19節負担金補助及び交付金804万7千円は、潟土地区画整理事業地区内定住促進補助金で、未処分市有地、旧保留地を購入された個人を対象にした補助金800万円が主なものであり、26年度予定としまして7画地7筆を予定しております。次に99ページをお願いいたします。2目土地区画整理費8節報償費3万7千円は、潟土地区画整理事業地区内未処分市有地検討委員会4名の出席謝金であります。11節需用費18万3千円は、潟土地区画整理事業地区内未処分市有地の看板等の費用であります。13節委託料91万2千円は、未処分市有地、旧保留地の伐開委託費であり、未処分市有地の周りに宅地ができ、環境及び衛生維持を保つために年1回の伐開を予定しております。次の3目公園費であります。11節需用費453万2千円は、公園管理のための光熱水費及び電気料と公園の遊具施設の補修代が主なものであります。12節役務費57万6千円は、番所丘公園を除く、ほかの公園トイレの汲み取り手数料及び保険料等が主なものであります。13節委託料5,098万8千円は、指定管理者制度により管理運営を行っている番所ヶ丘公園の委託料、その他市内公園27カ所、街路等11カ所、県管理施設の清掃業務委託料、それから、街路、公園の除草等作業委託料、それから、公園、街路樹木剪定委託料、市内の公園等の浄化槽管理委託料、樹木管理業務委託料、公園等の遊具施設の撤去委託料、害虫駆除等業務委託料費が全ての委託料であります。次は100ページに続きますが、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業による測量設計業務委託、番所丘公園北側第2駐車場ほか測量設計業務委託、塩鶴、塩浜公園のトイレ設計及び測量設計業務委託料1,408万8千円などがあります。15節工事請負費1億4,563万6千円は、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業、補助率50%によります総合

運動公園投球練習場改築工事及び番所丘公園、中央ゲートエリア舗装改修工事、それから臨時交付金事業によります番所丘公園北側第2駐車場の整備工事、単独事業による番所丘公園ログハウス改修事業、仮設事務所撤去跡地ほか整備及び臨時交付金事業によります、塩鶴、塩浜公園トイレ新設及び改修工事と、それ以外の公園維持修繕工事費用であります。18節備品購入費305万3千円は、番所丘公園の平成25年度オープンしたグラウンドゴルフ場専用の芝刈り機、電気自動車1台と総合管理事務所で使用する椅子類や机などの購入費用であります。次の4目都市下水路費7節賃金11万2千円は、都市下水路における伐開作業や土砂除去等に係る作業賃金であります。13節委託料は、赤瀬川地区、大尾地区排水路用地測量業務委託料であります。15節工事請負費は大丸都市下水路改修工事費であり、平成26年度から3カ年計画で延長236メートルの整備を行いますが、初年度は臨時交付金事業、補助率90%による延長102メートルの工事費であります。17節公有財産購入費22万2千円は、赤瀬川地区、大尾区の排水路用地1筆の面積74平方メートルの購入費であります。5目街路事業費13節委託料1,052万8千円は、都市計画決定している道路で長期未着手の道路について見直しを行う業務委託料、それから、うみ・まち・にぎわい再生整備計画による社会資本整備交付金、補助率40%により、3-4-7港潟線、琴平南通線ミニパーク測量設計業務委託料、臨時交付金による3-6-5大丸阿久根港線延長500メートル、3-6-6橋之本阿久根港線延長380メートルの測量設計調査業務委託料費であります。次は101ページをお願いいたします。15節工事請負費1億1,599万円は、うみ・まち・にぎわい再生整備計画による社会資本整備交付金、補助率40%による、3-6-2阿久根港本通線歩道カラー舗装工事延長360メートルの歩道部カラー舗装工事と臨時交付金による3-6-5大丸阿久根港線延長500メートル及び3-6-6橋之本阿久根港線延長380メートルの道路改修工事であります。

次の8款土木費6項住宅費1目住宅管理費は、公営住宅511戸、一般住宅8戸の維持管理運営費用であります。1節報酬408万2千円は、市営住宅の維持修繕に係る建築技能嘱託員及び市営住宅管理事務嘱託員各1名の報酬であります。2節から4節は、職員3名分の給料等であります。8節報償費25万3千円は、主要な6団地に管理人を置いておりますが、その17名分の謝金と悪質滞納者に対する法的措置に係る弁護士謝金を計上したものであります。11節需用費627万4千円は、住宅修繕用の物品代が主なものでございますが、このほかに寺山住宅エレベーター改修やふれあい住宅浄化槽の改修を計上しております。12節役務費192万4千円は、市営住宅火災共済掛金のほか、法的措置による強制執行予納金や裁判手数料、貯水槽及び浄化槽の法定検査手数料を計上したものであります。13節委託料475万4千円は、寺山住宅の4基のエレベーター保守点検業務であります。次の102ページにある市営住宅退去の強制執行に伴う遺留物処分業務、また、受水槽清掃業務や敷地内の樹木管理、シロアリ駆除業務費用などを計上したものであります。14節使用料及び賃借料10万4千円は、寺山団地1号棟のエレベーター防犯カメラのリース料でございます。15節工事請負費3,705万7千円は、市営折口住宅小型合併処理浄化槽の設置費用や市営上原住宅外壁等改修工事、また老朽住宅除去工事や市営鶴見タウンA棟の量水器取りかえ等の修繕を実施するための経費であります。なお、老朽住宅除去工事につきましては、市営奈石住宅2戸分を計上しております。16節原材料費30万円は、修繕用の木材、セメント等の資材費であります。17節公有財産購入費340万9千円は、市営住宅用の流し台、畳のほか、風呂釜、トイレファン、換気扇などを購入する費用でございます。19節負担金補助及び交付金287万9千円は、寺山住宅の浄化槽管理費の負担金120万円と阿久根市木造住宅耐震事業補助金の耐震診断5戸分、限度額3万円と耐震改修工事5戸分、限度額3

0万円に対する補助金165万円が主なものでございます。次の2目住宅建設費は、寺山住宅5号棟の駐車場整備に関する費用であります。11節需用費10万円は、建設工事関係に伴います消耗品購入費であります。12節役務費5万5千円は、建設工事関係の通信運搬費であります。15節工事請負費につきましては、寺山住宅5号棟の駐車場整備事業費であります。次の3目危険住宅移転促進費の19節負担金補助及び交付金537万2千円は、がけ地近接等危険住宅移転事業1件分を見込み、除却1件と建物助成1件に対する補助金でございます。

次に、125ページをお開きください。11款6項1目単独土木施設災害復旧費800万円は、国庫補助の対象とならない緊急を要する工事費のほか、補助災の認定に要する事務費等を計上しております。

次に、歳入について説明申し上げます。予算書の19ページをお願いいたします。10款交通安全対策特別交付金1項1目交通安全対策特別交付金300万円は、交通反則金等をもって交付されるものであり、見込額を計上しております。12款使用料及び手数料1項使用料6目土木使用料1節道路橋りょう使用料611万円は、市道内に占有している電柱等及びガス管等の道路占有料が主なものであります。21ページの2節都市計画使用料3万2千円は施設の占有料であり、公園及び都市下水路及び潟土地区画整理事業地内未処分市有地の占有料であります。3節住宅使用料7,945万4千円は、市営住宅使用料、現年度及び過年度分の7,777万5千円と市営住宅用地占有料11万9千円及び市営住宅駐車場使用料156万円であります。

次に22ページをお願いいたします。2項手数料6目土木手数料1節土木管理手数料32万7千円は、屋外広告物許可手数料が主なものであります。2節住宅手数料の2千円は、市営住宅敷地駐車場の認可証明料であります。

24ページをお願いします。次の13款国庫支出金2項国庫補助金7目土木費国庫補助金の2節道路橋りょう費補助金1億980万1千円は、市道尾城線、市道槁之浦深田線、市道折口大辺志線の道路改良事業費5,220万1千円と舗装事業の市道折口本線舗装事業、市道高之口佐潟線舗装事業、市道牧内桑原城線舗装事業、市道春畑線舗装事業5,460万円及び橋りょう改修事業300万円であります。これらは社会資本整備総合交付金事業で整備を計画しており、国庫補助率は事業の60%であります。5節都市計画費補助金1,500万円は、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業に対する補助金であり、総合運動公園の投球練習場改修及び番所丘公園中央フリゲートエリアの舗装工事等3,000万円に対する補助金であり、補助率は2分の1であります。6節住宅費補助金770万2千円のうち、寺山住宅建設事業に対する交付金が349万円、上原住宅外壁等改修事業に対する交付金70万1千円、がけ地近接等危険住宅移転事業費268万6千円、住宅・建築物耐震改修事業費82万5千円であり、各事業に対する国の補助金であり、補助率は2分の1であります。

次は27ページをお願いします。14款県支出金2項県補助金7目土木費県補助金の6節住宅費補助金134万3千円は、がけ地近接等危険住宅移転事業537万2千円に対する補助金であり補助率は4分1であります。次の28ページをお願いいたします。7目土木費委託金2節河川費委託金4万円と4節都市計画費委託金12万円は、市町村権限移譲交付金の委託金で、5節住宅費委託金の13万8千円は、建築確認申請取扱事務等の委託金であります。

次は、29ページをお願いいたします。15款財産収入2項1目不動産売払収入1節土地建物売払収入8,001万円のうち8千万円は、潟土地区画整理地内の旧保留地分、売り払い分であり、7画地7筆の売り払いを見込んでおります。

次は、33ページをお願いいたします。19款諸収入5項4目雑入20節雑入のうち都市建設課関係の主なものは、33ページの上から5行目の潟土地区画整理区事業付保留地代金10万円、上から8行目、寺山団地の共同利用施設の維持管理費に対しての県の戸数割負担金168万4千円であります。その下は、潟土地区画整理事業の清算金1千円は科目設定であります。

次は、34ページをお願いいたします。20款市債1項7目土木債1節道路橋りょう債2億5,150万円、2節河川債500万円、4節都市計画債6,590万円、5節住宅債1,380万円は、説明欄に記載してありますとおり、それぞれの事業の財源の一部に市債を充てるものでございます。

以上で説明を終わりますが、質問に対する答弁は課長、不足の場合は担当係長で対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

竹原恵美委員

100ページで、8款5項5目13節と15節です。うみ・まち・にぎわい整備事業にどうも着手するようなんですが、今までの議会での説明内容というのは企画課からこのとおりにつくるわけではありませんという、厚い冊子でカラープリントしたもの、企画の状態だったんですけど、これに、あの時点では、このままつくる状態ではないという説明だったんですが、すでに全体像もないままに着手が始まるという状況にあるんですか。

飛松都市建設課長

これにつきましてははですね、今市街地の整備計画を進めているわけなんですが、補助事業の枠がですね、うみ・まち・にぎわいの枠を使うということで市街地の活性化を図っていくと、このように考えておりますので、よろしくお願いいたします。

竹原恵美委員

全体像がなくしてどういうふうに、全体をつくるからこういうふうにスタートを切るということは、まったく表れてないんですが、どういう内容が行われるということでしょうか。

飛松都市建設課長

このうみ・まち・にぎわいにつきましてははですね、もちろん、うみ・まち・にぎわいの整備計画がなくてもですね、都市建設課所管としましては、昭和30年代、40年代に舗装されました市街地地区の舗装工事をやるということを設定しておいたわけなんですが、幸い、うみ・まち・にぎわいも同時に入るとということで、確かに市街地関係におきましては、グルメの通り、それから交通安全対策事業としましてゾーン30、30キロ制限を設けなくてはならないという阿久根警察署所管からのお願いもありまして、そういう工事を一体とやっているというところがございます。その全体的にわからないということじゃなくして、すべて阿久根駅にぎわい交流センターからすべて市街地を含めての整備計画ということで、御理解いただきたいと。それにつきましても、市街地におきましても相当老朽化しておりますので、それを一体となって社会資本と、それとうみ・まちの交付金を充当して整備をやっていくということで御理解いただきたいと、このように考えています。

竹原恵美委員

それはその老朽化の部分の補修は、今までも積み上がって必要な部分であったということはわかるんですけども、全体、新しく向かっていこうという絵がないところで、今着手することが手戻りにならないような内容になるか、全体像が進んでいる間の中で着手すること、しかも、小さいならいいんです。少しずつならいいんですけども、あまりに1億

1, 600 ですね。額が大きいから着手面積があまりにもどかんと大きすぎるので、手戻りになる可能性とのやりとり、整合性はとれてますかというところがあります。

飛松都市建設課長

確かにですね、事業費も多いわけですが、今既設のコンクリートの盤があるわけなんですが、それにガス、水道が入りまして、ものすごく分断されておりまして、通行等にもですね、ものすごく影響がある段階におきまして、それについてをすべてはぎ取って新しく舗装するという事業でございますので、後戻りというのはないと、このように考えております。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

山田勝委員

確かに阿久根市街地の傷んでるところもたくさんある。だから、こういう事業をやられることは非常にいいことなんだけど、ただ一つ私が今ふと気がついたんですが、このうみ・まち・にぎわい通りという事業でね、やれば、例えば財源がですね、有利な財源がある。イコール起債を借りずにしても有利な起債があるというような、そういうことなんですか。

飛松都市建設課長

先ほど申しましたようにですね、例えば、カラー舗装、そういったものについてはですね、社会資本では対応ができないとか、いろんな制度があるものですから、今山田委員がおっしゃったとおりのことだと、このように考えております。

山田勝委員

それはそのなかなかね、そういう事業を進める全体の絵がかける（聴取不能）私はよくわかりませんよ。ただ阿久根のまちをきれいにせないかんということは、わかっていますよね、きれいにするためにそういう制度、そういう事業を取り入れることによってね、ほんとにカラフルなまちづくりができる。あるいはそういう事業を取り上げることによって、有利な補助金を使ったり、有利な起債を使用できるということであつたらね、私はばんばん進めてほしいと思いますよ。それと土木事業ですね、いろいろ項目を上げていきましてね、同じ道路維持の仕事じゃないですか、これでやろうというの。道路維持の仕事だけど、イコール道路維持課の工事請負費ですね。それから今回のいろいろ街路事業の中ですね、工事請負費なんというのをね、見てみますとね、かなり大きな今までにはない大きな公共事業が載せられているから、角度を変えれば、なるほどこういうところにも俗に言うアベノミクスが出てきているのかなという気が実は僕は今思っているんですよ。ですから、わからなかったからお尋ねしました。結構です。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

山田勝委員

住宅管理費の中でね、お尋ねしたいんですが、住宅管理費の17団地の管理者に対する謝金というのがありましたよね。これがね、私ね、あまりにも少ない気がするんですよ。14万幾らじゃなかったですかね、報償費、謝金、管理人の謝金14万8千円というのは、何人に幾らずつ、お礼ですけどね、やられるんですか。

飛松都市建設課長

ただいまの質問につきましては、担当係長のほうから説明させます。

大田用地住宅係長

山田委員にお答えいたします。先ほど質問がございました団地に対する17名の謝金でございますが、基本料といたしまして一人5千円。それから住民割といたしまして、入居者に

対する一人当たりの金額200円。これを積算いたしまして今回の予算計上となっております。以上です。

山田勝委員

17件の団地の中でですね、失礼ですけど、最高幾ら、最低幾らというのがわかっているでしょう。教えてください。

大田用地住宅係長

山田委員にお答えいたします。基本料金につきましては先ほど5千円と申しましたが、これにつきましては、17団地すべて統一の額となっております。以上です。

[山田勝委員「わかっって合計を言わんか、ばかが。くだらん、おいに言わすれば。」と呼ぶ]

[複数人発言する者あり]

大田用地住宅係長

山田委員にお答えいたします。ただいま手元に資料等がございませんけれども、確かにですね、団地の入居者の多いところが基本的に謝金が多くなっているということは当然でございますが、今ちょっと資料が手元にございませんので、お答えができないところです。以上です。

山田勝委員

まず先ほどのばかと言ったのは、撤回させてください。すいませんでした。それから、あのね、私は17万というのは、とにかく極端に言ったらひと月に1千円もない人もいますよね、ひと月に1千円もない人もいます。そういうことを考えたとき、具体的に管理人というのは、どんなのをね、どんな仕事をするのかな。そして、それをももちろん市営住宅のあるその団地内でみんなで管理人を選んでするというのとね、それから、役所側から管理する役所側からね、管理人としてお願いをするというのとね、私は違うと思いますよ。そういうことからしてね、私、ひと月に1千円もない管理人なんていうのはね、あまりにも管理する側から考えればね、大事にしていないという気がしますよ。

大田用地住宅係長

山田委員にお答えいたします。市営住宅の管理人の業務につきましては、毎月の督促状の配付、あるいは団地内の連絡調整、あと環境美化等々、さまざまな仕事がございます。以上です。

山田勝委員

あまりにもね、安い気がする。私の常識で考えればあまりにも安いし、安ければいいという品じゃないんですよ、今担当係長が言われた仕事の内容からすればね、そんなことを1千円もなくてやってくれるなという気が実はしますよ。だから、一月のね、管理人のね、謝礼が1千円もないなんていうのは、もう私から考えれば常識がない。ほかのしは、みんな安ければよかと思うかもしれませんが、しかしね、そういうのはね、安ければよかというね、発想はね、役所側からすればあまりいい発想じゃないですよ。だから、そういうのはぜひね、考え直してほしいと思いますが、課長いかがですか。

飛松都市建設課長

これらにつきましてはですね、26年度の当初予算にはこれで計上してありますが、他市町村の管理運営、仕事に対する中身に対するですね、時間と今業務内容を言った中についてですね、単価を見直してですね、今後検討していきたいと、このように考えております。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、議案第23号中、都市建設課所管の事項について、審査を一時中止いたします。

(都市計画課退室)

午前中の審査を中止し休憩します。

午後はおおむね午後1時再開いたします。

(休憩 12:05 ~ 13:00)

(商工観光課長、都市建設課長 入室)

予算特別委員長(岩崎健二委員)

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

ここで午前中の審査においてありました質疑に対し、答弁するため発言したいとの申し出がありますので、この際許可します。商工観光課から順次発言を許します。

小牟田商工観光課長

先の午前中に野畑委員より、出水駅蔵之元間シャトルバスの利用促進協議会負担金の積算ということでございましたが、年間負担額が1,600万円ということで、天草市が3分の2、出水地域が3分の1というふうになっております。1,600万円の3分の1をしますと、533万2千円となりますが、これをさらに人口割、運行キロ割、それぞれ50%ずつということでしますと、人口割が266万6千円、運行キロ割が50%ということで266万6千円。それをさらにそれぞれの地域の人口、あるいは運行キロ割を積算したものであります。合計しますと125万7千円ということになります。それから、出口議員のほうで阿っくんの商標登録のことを言われたんですけども、これにつきましては。平成21年6月に商工会議所が商標登録をして、平成21年の6月に商工会議所のほうで商標登録をしているということであります。以上でございます。

予算特別委員長(岩崎健二委員)

次に都市建設課長の発言を許します。

飛松都市建設課長

それでは午前中の山田委員の御質問で、市営住宅の管理人の謝金について、最高と最低の謝金についての御質問について回答いたします。まず、最高の謝金につきましては2万円。最低につきましては6,200円であります。また、管理人の基本料を平成24年度は、3,200円としておりましたが、平成25年度からは5千円。戸数割分についても2倍に上げております。24年度の管理謝金の合計が7万7,300円、25年を14万2千円に倍額に上げております。また、先の答弁で管理人の業務内容につきまして、督促状の配付と申し上げましたが、納付書の配付での誤りであり、訂正してお詫び申し上げます。

(商工観光課長、都市建設課長 退室 生涯学習課 入室)

予算特別委員長(岩崎健二委員)

次に、議案第23号中、生涯学習課所管の事項について審査に入ります。

生涯学習課長の説明を求めますが、説明は所管の予算内容、新規事業等について、簡潔明瞭をお願いします。

上野生涯学習課長

去る3月5日の本会議において、特別委員会付託になりました平成26年度一般会計予算の生涯学習課所管分の主なものについて、歳出から御説明申し上げます。

44ページをお開きください。第2款総務費1項12目市民会館管理費の本年度予算額1,

580万2千円は、前年度より36万3千円の増額で、対前年度比率102.35%であります。7節賃金の348万3千円は、市民会館の警備員2名と臨時職員1名の経費を計上しました。11節需要費752万3千円は、維持管理費として電気料、水道料、燃料費等の光熱水費が582万円のほか、暖房用A重油等の燃料費、修繕料が主なものであります。13節委託料399万5千円は、音響、照明設備保守点検業務等9業務の委託料であります。また、本年度より警備業務は賃金で計上いたしました。

115ページをお開きください。第10款教育費5項1目社会教育総務費の本年度予算額5,820万3千円は、前年度より828万3千円の減額で対前年度比率87.54%であります。減額の主な理由は、2節、3節、4節の人件費の減額分が主なものであります。1節報酬952万2千円は、社会教育指導員5人の報酬914万4千円が主なものであります。2節給料、3節職員手当等、4節共済費は、職員6名分の人件費等であります。8節報償費348万6千円は、第15回あくね洋画展の審査員謝金及び成人式や生涯学習フェアの謝金などの各種研修会謝金、成人教室や高齢者教室等の地域社会教育活動講師謝金が主であります。11節需用費103万1千円は、各種講座用消耗品ほか自主文化事業、あくね洋画展ポスターの消耗品等であります。続いて116ページをお願いいたします。13節委託料264万8千円は、家庭教育学級ほか4件の委託料であります。14節使用料及び賃借料の96万4千円は、文化祭や自主文化事業等の音響照明借上料が主であります。19節負担金補助及び交付金267万7千円のうち、負担金は出水地区視聴覚教育協議会負担金123万7千円ほか5件の協議会負担金であり、補助金は校外生活指導連絡協議会ほか7団体の運営補助及び2件の事業補助であります。

117ページをお願いします。2目公民館費の本年度予算1,164万8千円は、前年度より265万8千円増額の対前年度比率129.56%であります。増額の主な理由は、脇本地区公民館屋根防水工事や自治公民館の負担金の増額分が主であります。7節賃金の181万6千円は、脇本地区公民館の警備員2名と隼人分館周辺管理の経費を計上しました。11節需要費397万3千円は、大川地区、脇本地区公民館の電気、水道、燃料費等の光熱水費が主なものであり、修繕料は、大川・脇本地区公民館の修繕料であります。13節委託料256万6千円は、大川地区、脇本地区公民館の維持管理に関する業務委託料5件分であります。15節工事請負費160万1千円は、脇本地区公民館屋根防水工事と第1会議室間仕切り撤去工事を予定しております。19節負担金補助及び交付金84万円は、県公民館連絡協議会負担金ほか、自治公民館整備事業として、6自治公民館の修繕にかかる補助金であります。

118ページをお願いいたします。3目図書館費の本年度予算3,609万1千円は、前年度より494万7千円減額の対前年度比率87.94%であります。減額の主な理由は、建設を予定している郷土資料館を含む市立図書館基本設計業務委託料の予算を減額計上したものであります。13節委託料3,183万円は、市立図書館及び郷土資料館管理業務を指定管理者としてNPO法人「ぷれでお」への委託料と郷土資料館を含む市立図書館基本設計業務委託料であります。18節備品購入費400万円は、図書購入費であります。なお、平成26年度1月末の図書蔵書数は、8万0,743冊であります。25節積立金は、寄付金及び利子等の積立金であり、読書推進基金残高は25年度末で1,086万4,864円となる見込みであります。

次に、4目青年の家管理費の本年度予算1,822万6千円は、前年度より1,611万2千円増額であります。増額の主な理由は、青年の家屋根防水工事やトイレ改修工事費の増額が主であります。11節需用費95万6千円は、電気料、水道料、燃料費等の光熱水費の

ほか、一般修繕料が主なものであります。13節委託料は、館内清掃業務ほか4業務委託料であります。15節工事請負費1,625万9千円は、青年の家屋根防水工事とトイレ改修工事を予定しております。

次に、第10款6項1目保健体育総務費1,665万円は、対前年度比83万9千円減額の95.20%であります。8節報償費43万2千円は、学校体育施設開放協力謝金30万円が主なものであります。次の120ページになりますが、19節負担金補助及び交付金1,405万5千円は、出水地区体育協会連絡協議会等6件306万2千円の負担金、スポーツ少年団育成補助金等12件、1,099万3千円の運営補助及び事業補助であります。

次に、2目体育施設費であります。本年度予算額1億528万8千円は、対前年度比18万8千円減額の99.82%であります。11節需要費1,729万9千円は、電気、ガス、水道料の光熱水費1,134万円と、総合運動公園及び総合体育館の空調機器等修繕料409万6千円が主なものであります。次の121ページですが、13節委託料2,861万7千円は、阿久根市体育協会に委託しております総合運動公園の施設管理運営委託料やグラウンドほか芝除草管理業務など14件の委託料と、本年度予定しております野球場防球ネット設置工事の測量設計業務の委託料であります。15節工事請負費5,764万3千円は、総合運動公園野球場ネット設置工事、土置場改修工事、総合体育館ライン改修工事を予定しております。18節備品購入費96万7千円は、バレーボールの支柱やネット等や大型扇風機6台の購入費用であります。

次に、122ページをお願いいたします。3目海洋センター管理費であります。本年度予算1億1,560万円は、9,584万6千円増額の対前年度比率583.72%であります。増額の主な理由は、B&Gプールの改修工事請負費を予算計上したものであります。8節報償費101万2千円は、水泳教室講師謝金及び海の子カーニバル実施に伴う救助員等謝金が主なものであります。11節需用費396万9千円は、B&G体育館、プール等の管理に伴う、電気・ガス・水道料の光熱水費が主なものであります。13節委託料は、B&Gプールや体育館の機械設備点検や浄化槽清掃業務等であります。15節工事請負費1億742万1千円は、B&Gプール改修工事を予算計上しました。

次に、歳入について御説明いたします。20ページをお開きください。第12款使用料及び手数料1項1目総務使用料1節総務管理使用料173万6千円のうち、市民会館使用料92万5千円であります。21ページになります。7目教育使用料4節社会教育使用料27万9千円は、脇本地区公民館、大川地区公民館、青年の家使用料であります。5節保健体育使用料382万4千円のうち382万3千円は、総合運動公園、海洋センターの夜間照明及び施設使用料であります。

29ページをお願いします。第15款財産収入1項財産収入2目1節利子及び配当金のうち、生涯学習課所管分は基金利子の読書推進基金分3千円です。

次の30ページをお願いします。第16款寄付金1項寄付金10目教育費寄付金4節社会教育費寄付金の1千円を予算計上しております。

32ページから33ページをお願いいたします。第19款諸収入5項雑入4目20節雑入のうち、生涯学習課所管の主なものは、1行目雇用保険料114万2千円のうち、社会教育指導員及び市民会館臨時職員と市民会館、脇本地区公民館の警備員の雇用保険料6万9千円あります。2行目書籍等売払代金の書籍代5万1千円のうち5万円、8行目地域海洋センター水泳教室参加料17万円、12行目総合運動公園自動販売機電気料70万円、17行目私用電話料市民会館分3千円、下から6行目総合運動公園事務所光熱水費22万円と5行目B&G体育館光熱水費7万3千円、下から3行目自主文化事業入場券販売収入20万円、1

番下、あくね洋画展出展料35万円、33ページ4行目原子力立地給付金136万3千円のうち生涯学習課所管分58万7千円であります。16行目B&G財団事業助成金2,680万円は、B&Gプールの改修工事に対する助成金です。

35ページをお願いします。第20款市債1項市債9目教育債5節保健体育債の3,030万円は、B&Gセンタープール改修事業債2,360万円と総合運動公園整備事業債670万円であります。

以上で生涯学習課所管にかかる歳入歳出予算について御説明いたしました。御審議方よろしくをお願いします。なお、答弁については私、不明な事項については担当係長からの答弁をあらかじめ御了解願います。よろしくをお願いします。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

出口徹裕委員

117ページの10款5項2目15節の説明の中で、会議室間仕切り撤去工事というのが出てきたかと思うのですが、これは脇本ですか。

上野生涯学習課長

脇本地区公民館のホールの部分のオーディオンカーテンみたいなやつが壊れているところがあるんですけど。

出口徹裕委員

あそこは確か使用する際に、一つのホールとしてではなくて、使用の許可が半分半分二つに分かれてたかと認識してるんですけど、そういった場合、撤去することによって使用料が2倍になったりとかっていう形になるのでしょうか。

上野生涯学習課長

すいません。後もって協議してみますので、そこまで、撤去に関してその部分まで考えておりませんでした。今のところ。

出口徹裕委員

確かですね、半分の使用を申請を出して使う。今までも仕切りが壊れていて確かできてなかったんで、結果的には全面使っていることにはなっていたかと思うんですけども、確か許可のほうは半分半分だったと思うので、仕切りがなくなると広さが2倍になったときに使用料がどうなるのかというところを再度また教えてください。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

牛之濱由美委員

116ページ10款5項1目13節委託料ですけども、前年度比からしたら122万7千円ほどですか、26年度がマイナスなんですけども、どの部分が委託料がマイナスになった部分なんですか。

上野生涯学習課長

これにつきましては、自主文化事業を例年2回計画しておりましたが、昨年も1回ということでしたので、自主文化事業1回分を減額しております。

[牛之濱由美委員「了解しました。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

木下孝行委員

今の同じですね、116ページ10款5項1目の19節補助金ですが、合宿等誘致推進事業というようなことで、どのようなことを考えているのかというのをお願いします。

上野生涯学習課長

合宿等誘致事業につきましては、この費目の中では文化関係のサークル等の大学等の文化関係のサークル等を予定しております。

木下孝行委員

大学等の文化サークルの誘致、大学等の誘致というのは今わかりましたけど、こういった活動をするんですか。誘致内容と言うのかな。そのもの自体の活動はなんなんですかね。

上野生涯学習課長

スポーツ合宿については、スポーツをされている大学等、文化サークルと言いますと、いろんなゼミとか等で、ゼミなんかでサークル活動を行っているところの大学等を予定しておりますけど。

木下孝行委員

ちょっと、理解に苦しむんですけどね、目的はいわゆる大学等の自主文化活動をやっているところを呼んで、阿久根市にこういった効果をもたらそうとしているわけですか。

上野生涯学習課長

スポーツ合宿と同じでこちらに宿泊してもらうことで、経済効果を考えております。

[木下孝行委員「いいです。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

山田勝委員

今のね、自主文化事業の講演の講師はだれが選定するの。

上野生涯学習課長

生涯学習課のほうで検討しまして、教育委員会全体でもんでもらっております。教育長を含めて。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

よろしいですか。

[山田勝委員「あとでいい講師を教えるから。」と呼ぶ]

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、議案第23号中、生涯学習課所管の事項について、審査を一時中止いたします。

(生涯学習課退室、給食センター入室)

次に、議案第23号中、学校給食センター所管の事項について審査に入ります。学校給食センター所長の説明を求めますが、説明は所管の予算内容、新規事業等について、簡潔明瞭をお願いいたします。

野崎学校給食センター所長

それでは、御説明いたします。平成26年度阿久根市一般会計歳入歳出予算の学校給食センター所管分について、予算に関する説明書により主な内容について歳出から御説明いたします。予算に関する説明書123ページをお開きください。学校給食センターにおける予算総額は、1億3,364万2千円であり、前年度予算7,903万4千円に比較して5,460万8千円の増額であります。増額の主な理由は、連続自動炊飯機及びスチームコンベクションオープン機の備品購入並びにボイラー1基の交換等に係る費用の増額によるものであります。

それでは、主な点について御説明申し上げます。まず、連続自動炊飯機の設置工事につきましては、大きく5つのポイントを持って設置工事をお願いいたしたいと考えております。第1に、現在阿久根市の炊飯は、出水市にある従業員8名のパン製造業者に年間委託しておりますが、この1社で出水市の一部と長島町、阿久根市全域を担当しているため、過密スケジュールによる供給の停止も懸念されております。また、出水市からの配送のため、配達時間の遅れや緊急な対応などが困難であることなどから、主食である御飯の安定的供給及び計画的な配送体制を実現したいと考えております。第2に、見直されている日本食を多く取り入れるため、御飯の回数の調整や炊き込み御飯の工夫、同時に購入するスチームコンベクションオーブンの相乗効果による献立内容の充実及び栄養価の向上を実現できること。第3に、現在の炊飯業務の業者委託から学校給食センターの自炊に切りかえることで地元農家から米の現地購入が可能になることによる地産地消率の向上が期待できること。第4に、炊飯業務の委託を廃止することにより、炊飯委託料の節減ができること。第5に、学校給食センターが、災害時の食料供給基地としての機能を持たせることができること。ただし、電源確保が前提となります。このほかにも、パンと御飯の製造場所を分離することにより、ノロウイルスなどの食中毒発生時にも、いずれかの供給ができる可能性が高まることや業者のトラブルなどによるパンの供給停止にも代替措置がとれることなどが考えられます。

次に、スチームコンベクションオーブンの購入につきましては、大きく3つのポイントを持って購入をお願いいたしたいと考えております。第1に、連続自動炊飯機の設置工事を最小限度の改修規模で夏休み期間内に完了させるために不可欠であること。第2に、連続自動炊飯機を設置するために撤去せざるを得ない焼物機の代替機能を備えていること。第3に、スチームコンベクションオーブンの機能により、多様な調理や質の高い料理の提供が可能であり、調理者を選ばない仕上がり、スチーム料理もできて栄養を逃さず厨房の効率化・衛生管理を実現できること。

次に、ボイラー1基の設置工事につきましては、学校給食センター操業開始から11年を経過し、ボイラーも耐用年数を超えてきているため、2基あるボイラーを順次交換するために交換工事をお願いいたしたいと考えております。

次に、各学校への御飯の供給開始時期等につきまして御説明いたします。ハード面につきましては、議会の議決後に財政課におきまして入札処理をしていただき、平成26年度学校の夏休み期間内に工事を完成させる予定としております。また、ソフト面につきましては、炊飯、配送業務が新たな委託業務となることから、学校給食業務の委託業者と具体的な協議を行ない、平成26年度内に契約変更も含め体制を確立した上で平成27年度からスタートさせる計画であります。このため、平成26年度内は、現在の炊飯委託会社と契約を継続しながら学校給食センターによる炊飯等のテストを実施してまいります。

以下、各節ごとに御説明いたします。1節報酬の12万5千円は、学校給食センター運営委員会委員9名分の報酬であります。2節給料から4節共済費は、職員2名分の人件費であります。9節旅費の7万6千円は、運営委員会委員及び学校給食担当者並びに職員の旅費であります。11節需用費の2,093万9千円は、給食センター管理等の消耗品及び施設機器類修繕費のほか、電気、水道、ガス、ボイラー用A重油の光熱水費が主なものであります。12節役務費の39万9千円は、郵便電話料のほか建物損害共済保険料等が主なものであります。13節委託料の4,520万7千円は、衛生保守管理業務のほか、予算書に記載の11業務の委託料であります。14節使用料及び賃借料の5万2千円は、衛生マットレンタル料及びNHK放送受信料であります。15節工事請負費の4,250万円は、市有施設整備基金に基づく補助事業で行う連続自動炊飯器設置工事及び蒸気ボイラー取替工事であります。

18節備品購入費の797万円は、電源立地地域対策交付金を活用して購入いたしますチームコンベクションオープンが主なものであります。19節負担金補助及び交付金4千円は、県学校給食センター連絡協議会負担金であります。

以上で、歳出についての説明を終わりました。次に歳入について説明をいたします。予算に関する説明書21ページをお開きください。12款使用料及び手数料1項使用料7目教育使用料の中の学校給食センター占用料1千円は、九電柱1本の占用料であります。

次に、予算に関する説明書33ページをお開きください。19款諸収入5項雑入4目雑入の備考欄上から4行目にあります原子力立地給付金136万3千円のうち、学校給食センター所管分は6万円であります。以上で説明を終わりますが、御審議のほどよろしくお願いいたします。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

所長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

出口徹裕委員

124ページ10款6項4目の15節、連続自動炊飯器設置工事なんですけれども、先ほど説明の中で経費の節減が見込めるということなんですけれども、おおむね積算上だいたいどれくらいの費用の節約が見込めるのか、まず教えてください。

野崎学校給食センター所長

今後、児童数も減りますので確定ではございませんけれども、約委託料としまして考えられる部分が500万円程度だというふうに試算しております。以上です。

出口徹裕委員

この炊飯を自分たちで行うことによって、人員の増員とかっていうのは今後出てくる可能性はあるのでしょうか。

野崎学校給食センター所長

はい、こちらにつきましては、新たな業務となりますので、人員の確保が必要になる可能性が高いと考えております。以上です。

出口徹裕委員

ということは、500万よりまだ出てこないというところの可能性があるということですよ。結局500万は見込んでいるけど、人員が出てくればその分がお金がかかるわけですから、安定供給するためのものというふうなとらえ方で考えておきます。それとこれが平成27年度からという、夏休みに設置して平成27年度からということなんですけれども、その27年度からになる理由というのは、どういったところなのでしょうか。

野崎学校給食センター所長

先ほども説明の中で少し申し上げたんですけども、26年度内にさまざまな今度は配送の体制とか、あるいは業務委託の内容とか、そういったものにつきましても先ほど言いました人員増もあるかもしれないということで、そういった部分につきまして、十分検討させていただきながら、また試験もしないといけないというふうに考えております。そういった意味からと、もう一つは、今委託をしております会社への委託期間というのもございますので、その辺を勘案いたしまして、27年度からというふうに考えております。以上です。

出口徹裕委員

ちょっと参考までに聞きたいんですけど、例えば阿久根市で災害があつたりとかした場合には、これ稼働させることっていうのは可能なのでしょうか。炊き出しとかで。

野崎学校給食センター所長

先ほど説明の中でも少し申し上げましたけども、電源の確保というのが今課題にはなりま

すけれども、電源の確保ができて施設がですね、もちろん損傷がないというのが前提だと思いますが、そういった場合につきましては、可能な限りそういった機能もですね、持たせていかなければならないのではないかと考えております。以上です。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

松元薫久委員

出口委員の質問に関連するんですけど、先ほど所長の説明の中で地元の農家から米を購入することも考えているというような説明があったかと思うんですけど、今までですね、自分の認識では、県で一括して米は買って、そこからの物を分けてもらっていたというような認識で今までいたんですけども、何かその法律が変わってこういうことが可能になったのでしょうか。

野崎学校給食センター所長

今、松元委員のほうでおっしゃっていただきましたその部分につきましては、炊飯もできないという状況で、炊飯ごとですね、県の学校給食会のほうに委託をさせていただいておりました。これが自分のところで炊飯ができるということになりますと、原材料を購入することにつきましては、必ずしも学校給食会を通さなければならないという規定ではないものですから、自分のところの購入ということで考えていけるのではないかとというふうに考えております。以上です。

松元薫久委員

自分の認識不足だったなと思うんですけど、例えば、地元の農家から米を買うということは、すごくいいことだと思うんです。あとは価格の問題になってくるとは思うんですけど、自分も何年か前に一般質問するときに調べた情報なので、今残っているサービスかわからないですけど、農水省のほうで地元の材料を給食に使う場合は、半分ぐらいの補助を出していたと思うんですけども、地元の米を使う、その考え方はいいんですけど、その量がふえてくると価格が上がってしまうと、今現在の給食費でですね、回していけるのかというところが心配になってくるんですが、どのようにお考えでしょうか。

野崎学校給食センター所長

おっしゃるとおりですね、価格のほうが高くなりすぎでは困りますので、これにつきましては、先ほども申しあげました学校給食会というのもございます。購入ルートとしまして、できるだけ地元を優先していきたいとは考えますけれども、やはり、限られた予算の中ですね、購入していかなければならないということもありますので、ある意味、今後また検討していくことにはなるかと思っておりますけれども、競争入札のような形でですね、入札方式をとっていく可能性もやっぱり考えていかなければならないのかなと。それで全体的に購入費用のですね、軽減につなげていけたらというふうには考えております。以上です。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

山田勝委員

今ね、連続自動炊飯器設置のことでね、あなたがやる説明をするけどね、私の認識からすればね、そんな（聴取不能）する必要もない。何でかつたら、夏休みに終わってね、27年度から始めるなんて、そんな大それたこと考える必要があるか。飯をつくるのにね、炊飯器で飯を炊くというのが一番簡単なんですよ、一番簡単。前から私が言ってますよ。あるてかくれば自動できています。それを今までのバツカンに入れて配送するだけ。それ講習をして練習をして、どんな人が作業するの、日本人がするの、外国から来た人、だれがするの

作業は。日本人がするの、だれがするの、作業はだれがするの。

野崎学校給食センター所長

今、現在考えておりますのは、委託業者、学校給食業務のですね、委託業者と交渉しているというふうに考えております。

山田勝委員

今ね、学校給食をあなた方が委託してる業者にね、委託してその分幾らかね、委託料が上がるでしょう。それはやむを得ないよね。それも上がるでしょう。でも働いている人は、ほとんど日本人でしょう、地元の人が働いているでしょう。何で私がこう言うかっていったら、昔私の小学校6年のとき学校給食が始まりましたよ。工事あってね、3学期からね、学校給食が始まりましたよ。うれしかったですよ、ものすごく。それをね、近ごろね、もっと早いのかと思ったなら、夏休みにこれぐらいの工事をしてですよ、練習をして、27年度から実施するなんてのはね、仕事を能率を上がらないようにブレーキかけてるの、あんたたちは。なんで速やかに夏休みにしたら2学期の途中からでもね、やろうという気概をもってやらないの。したくないのか、検討もしないのか、んなら。それを研究もしないのか。そんなことはね、何をあんたたちは、自分の仕事を何だと思っているの。

野崎学校給食センター所長

今の件につきましては、十分今後検討はさせていただきたいと考えておりますが、今、炊飯をですね、委託している業者もごさいます。出水市にある業者に委託しているんですけども、その経営まで考える必要はないかもしれないんですけども、年度途中で急に契約をですね、なくなりますとその部分も少しありまして、あと委託業者との間で配送経路とかそういうものにつきましても十分詰めたいたというのがありましたので、考えておりましたけども、そういう御意見もございましたので、今後またさらに検討、研究をさせていただきたいというふうに考えております。

山田勝委員

私はね、何でこんなことを言うかつたら、あまりにもね、仕事が迅速でない。こんなことはもうやろう。例えば、炊飯器なんてのはね、作業が一番簡単ですよ。あるてかくればでくったで。違いますか。こんな単純なことをね、そんな練習をして、作業の訓練をしてて思うことのほうがおかしい。自分の家のことにしてごらんささいよ。夏休み中につくったらですよ、夏休み中に買ってつくったらね、すぐ炊く、買って食べておいしいものを供給したいじゃないの。おいしい飯をね、供給せないかんですよ。以前はあなたたちは、農協に炊飯は委託しとったでしょう、農協に。でしたでしょう。農協に委託しとって、私がね、知らなかったことだけど、現実には出水のパン工場に委託した。そいで今度は来年はそうする。それはそれでいいんですよ。こんなのはむしろ遅すぎたぐらいですよ。こんな単純な労働を、こんな単純な労働をね、こんな単純な作業をね、委託するほうがおかしい。学校給食センターでしたときに当初ですればよかった話なんですよ。だから、これはね、夏休み中に工事を、炊飯器を据えるだけのこっじゃらよ。何が工事を、工事はある程度はあると思いますよ。建築するわけじゃないでしょう、配備をするだけの話でしょう、夏休み中の話だから。こんなことをば、やって27年度から始めるなんて話にもならん。教育長にも喝を入れてやらないかん。あの人に来てから阿久根市の教育も遅滞する。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

[山田勝委員「まだ言いますよ。まだです。」と呼ぶ]

山田勝委員

それからね、地産地消の話を、米の話をするけどね、原料が高くなったらでしょう。原料が高くなったら、あるいは米の値段が高くなったらというけど、阿久根市が払うわけじゃないでしょう。米の値段、米は、米代は。学校給食会が、父兄が払う部分でしょう。どうですか。

野崎学校給食センター所長

給食会計のほうから購入しております。

山田勝委員

どうせね、父兄が払ってくれるんですから、地元も協力しますよ。あわせて地元のを取るような段取りをしないと。これはね、長い間、農林省の、安く、パンをね、パンを安くするために米も安くしてきたという長い経緯があるんですよ。経緯があるから、なかなか学校給食会からとらないかん理由もあったけれども、現実に関今そういう状況にあるんだったらね、やはり、この際、地産地消で阿久根の米を絶対使わないかんですよ。うそを言ったらうそを言ったといいますよ。だから、早急にね、この問題も解決して欲しい。そういうことでお願いします。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

石澤正彰委員

今の山田委員の質問に関連しますが、124ページ、15節の連続自動炊飯器設置工事をやってこれから給食センターで御飯をつくと、おいしい御飯を児童、生徒に供給、食べさせてあげるということですよ。これ先ほどセンター所長の説明で出水や長島も供給されている業者さんなので、結構仕事量が多いんじゃないかということもおもんぱかって、連続自動炊飯器ですか、設置するようになったと。さっき山田委員が言いましたけど、私も前からそんな、野崎センター所長がですね、就任したときからずっと続けてきとったわけですよ。急にその納入されている業者さんがどっかの学校で児童、生徒がふえたとか、持っている箇所が多くなったとかいうのがあったんですか。

野崎学校給食センター所長

この件につきましては、先ほど山田委員のほうからも少しありましたが、最初、協同食品が請け負っていただいていたんですけども、ちょうど年度末に近づいたころにですね、突然、撤退をされるというような御相談がございまして、今の出水の業者に急遽委託を変えたところでございます。その流れの中で、やはり、1社で非常に広い範囲をされてたということがございましたので、この件につきましては去年からですね、実はお願いはさせていただいたところです。ことし、一応そういう形で予算化をしていただきまして、こういう形でお願いをさせていただいている部分でございます。以上です。

石澤正彰委員

わかりますけどね、最初からそれわかっるとるやんと。もっとはよから取り組むべきやったんじゃないのというのが、山田委員と同じ意見ですわ。地産地消でというのは、いきなりとって付けたみたいな言い方にしか僕には聞こえなかったんですけど、そうでもないかもわかりませんがね、もともとこれをその炊飯を委託しとった業者さんてパン屋さんですよ。ですよ、どうですか。

野崎学校給食センター所長

そうですね、専門はパンの業者であります。

石澤正彰委員

そこにかかるお金が幾らでしたっけ、4,250万、工事費も入れてということなんですよ。

うけども、私、ここに連続自動炊飯器でなってるんで、連続で炊けなければその作業が、それで必要なんだと言われればそれなんですけど、不連続というのはあるんですか。いや、連続で書いてあるから、不連続であるんですかて聞いとんのですよ。わからないから。

野崎学校給食センター所長

不連続といいますか、個別にかめで炊くようなものはあるかとは思いますが、通常センターに入っているものにつきましては、すべて連続の自動炊飯器になっていると考えております。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

よろしいですか。

石澤正彰委員

それともう一つ、124ページ、同じく18節のところですね。スチームコンベンションオープンほかということで、797万ですか、そのほかはわかりませんが、スチームコンベンションオープンですね、どういうものなんでしょうか。オープンというのはわかります。教えてください。

野崎学校給食センター所長

スチームであったり、あるいは焼き物器ですね、ガスで焼き物をしたり、非常に一つの機械の中で多彩な料理ができるということで考えております。スチームの場合、蒸し料理ですね、蒸し料理というのは、御存じのように非常に栄養価を残したまま調理ができるようなそういう機械になっております。あと焼き物もできますし、そういったことで多機能であるというふうに考えております。以上です。

石澤正彰委員

わかりました。それはわかりました。それとですね、これだけ、短めに言いますが、炊飯器とオープンと合わせてもですね、結構な予算を使うわけですが、今、世間で言われている私一般質問でもお願いしましたが、食物アレルギーや異物混入についての、何もなされていない。そこら辺は給食センター所長、最高責任者としてですね、世間で食物アレルギーのことも言っているのに、うちは取り組んでませんということで、あんどきは終わりましたよね。これについてはどう考えとんのですか。

野崎学校給食センター所長

アレルギーにつきましてはの対応につきましては、先日、一般質問のときにお答えしていたたとおりなんですけれども、考え方につきましては、やはり、今後、研究、検討を重ねてまいりまして対応できる部分につきましては、今後対応していきたいというふうには考えておりますが、現在のところ、別工程ですべてをつくらなければいけないというようなことで、スペース的にも、それから人員的にもなかなか難しいようなところも今のところございまして、なかなか実現できない状況ではございますが、今後また、さらに研究、検討はさせていただきたいというふうに考えております。以上です。

石澤正彰委員

異物混入についてはどうなんですか。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

石澤委員、予算の款項目の中で予算審議ですので、よろしくお願いたします。

石澤正彰委員

わかるんですけどね、要するにこれだけの大きなお金が動きますから、そういったことも含んでもらったらいいなという思いがありましたんで。これ変えます。それと、給食センター所長の説明で業者さんとの委託期間がどうのこうのという話がありましたが、現在の業者

さんの委託はいつで終わるんですか。

野崎学校給食センター所長

石澤委員にお答えいたします。炊飯業務の委託ということでよろしいのでしょうか。炊飯業務でありましたら、今年度内に1年更新ということになっておりますが。

石澤正彰委員

じゃなくて、給食センターの作業の委託をされている業者さんが終わるという話でしたよね。契約更新とかいう話がさっき出たやないですか。伊田食品が今委託を伊田食品にしてるわけでしょ。

野崎学校給食センター所長

債務負担行為のところでも御説明させていただいたとおり、今年度で今の学校給食業務については終了いたしますので、来年度に向けて再度契約を結ばさせていただきたいということをお願いさせていただいたところでもあります。

石澤正彰委員

今年度で終わると。次年度も伊田食品とまた再度契約をするというのは、どこで決めるんですか。

野崎学校給食センター所長

こちらにつきましては、債務負担行為のときにも御説明を少しさせていただいたんですが、財政課をとおしまして指名をしまして競争入札というようなことで、あとは入札結果によるというようなことだと考えております。以上です。

石澤正彰委員

公示はされとるんですか。要するにもう3月ですよ、今。4月から変わるということやったら期間がないん違います。どうなんですか、そこら辺は。段取りは着々と、例えば、伊田食品にすべて任せるようになっているのか、随意契約でそうになっているのか、どうなんですか。

野崎学校給食センター所長

こちらにつきましては、3月内に入札が終わっております。

石澤正彰委員

予算の話やからあれだけど、終わって伊田食品が継続するわけですか。

野崎学校給食センター所長

財政課のほうからは、そのように報告を受けております。以上です。

石澤正彰委員

だから、それやったら、現在の伊田食品さんで継続しましたというふうにお宅は言うべきやないんですか、決まっとるわけでしょう。どうなんでしょう、決まってるわけですね。

[複数人発言する者あり]

野崎学校給食センター所長

はい、そのとおりです。

石澤正彰委員

私ね、伊田食品で決まってるんやったらね、最初、そのげすな勘繰りかわからんけどね、炊飯器やいろいろ入れてやってですよ、いいのを入れてやって、ボイラーはそれはいろいろ結構使い込んでね、傷んできたから取りかえるというのはわかりますよ。でも、自動炊飯器も新たに米を炊くようになったからということですね、やってると。何かしらんけどやね、一生懸命仕事しやすいようにするのは当たり前なんだけど、ほんなら結局、異物混入した件についてはほっとってね、これだけ先行してやるというのは、どうもね、納得いかない。

まあいいですわ、返事は。終わり。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

山田勝委員

課長の説明をずっと聞いてとってね、ちょっと気になった。米飯をね、米飯を組合食品に委託してとって、出水のどこかわからんですよ、出水のパン工場に委託したという。組合食品が終了するというのでね、それは失礼、僕が、知らないのは僕だけかもわかりませんよ、議会か何か出てきましたかね。例えば議会に、あるいは私たちにわかるように報告か何かありましたかね。

野崎学校給食センター所長

委託業務につきましては、学校給食会計の中で購入をしていくということで、私が引き継いだ中では、出水の業者が変わっていたわけなんですけど、それを議会で報告さしていただいたかどうか、私は少なくとも報告はいたしてはいないんですけど。

山田勝委員

平成25年度からということは、去年の4月1日から出水の業者がやったということですよ。

[野崎学校給食センター所長「24年度です。」と呼ぶ]

24年度からですか。私はね、24年度から出水の業者にやったっていうのはね、やっぱりね、その時点でね、早急に自販で給食センターでね、米飯をつくるようにせないかんですよ、こういう形でしないで。その時点で、あなたの責任じゃないかもしれませんよ。その時点でその人が、例えば債務負担行為でも何でもいいですよ。単なるこれはね、とりあえずそこにしましょうということだけの、とりあえず納めただけの話ですよ。給食、米飯を供給するために、だから本来であればね、補正予算でも何でもね、早急にやらないかん仕事ですよ。早急にやらないかん仕事ですよ。本当はこれはやらないかん。あんたには責任はないけど、せないかんといわな。そういうことですよ。だからそういうふうに、そういうこのね、やはりね、下準備があったのでそういうあれがあったのでね、今回こういう予算が出てきたと思いますよ。こういうことで、やっぱりしなおさないかなって。向こうも目いっぱいだし、でしょう。向こうの業者も目いっぱいだから、やっぱりね、そういうのはそれなりに報告すべきですよ、ちゃんと。だから急遽出てきてね、私も連続自動炊飯器、こぼさじおって飯が炊けなったらかいとおもて（聴取不能）。次、できた飯がずっと運ばれて、また次々に飯ができ上がって、連続自動炊飯器でどんなのだろうか、つぎのスチームコンベクションオーブン、これは簡単、こんな簡単、何ですか、蒸すこともできる、オーブンもできる。そういう総合的な機械ですよ説明すればな、簡単にわかるんだけど、こんな難しい、あなたの説明を聞いてればね、どっか大学教授の話をしているようなもので、もっとわかりやすくね、俺たちでもわかるように説明してくれないと、たらたらたらたらあんたが言って、じっと聞いてとってね、たらたら説明するけどね、なかなかぴんときない。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

いいですか。

山田勝委員

まだ途中やらよ。だから、それはね、ちゃんと本来であれば、私はちゃんと、もっと早く外に出して議論をすべきだった次元ですよ、これは。今持ってきて、そういうのはね、今んとは言ったって仕方ない。それからもう一つ、石澤君がよく言う異物混入のことだけど、異物混入が予算には関係ないとみんな言うけどね、学校給食をね、円滑に執行するために、

出ている予算なんです、これは、でしょう。あなたたちの給料は、学校給食を円滑にする問題がないように、安心した学校給食を提供できるようにするために、あなた方がしてるでしょう、仕事を。違いますか。だから中には予算には関係ないと言う人がいるけど、関係あるんですよ。異物混入があるということが何遍もあっている。私は前の議会報を見てみるとね、異物混入については、納入業者が各自で異物をチェックする探知機を買いなさいというような話を教育長はしているよね。それはね、全くね、公金を乱雑に扱っている公務員の発想ですよ。よく考えてみなさい。私はね、ある阿久根の業者に聞きましたよ。異物混入については、教育委員会は各業者でチェックして買ってくださいというような話をしてるんだが、買うかって。いや、私たちはそういうことを言われたらもう納めません。納めなくてもいいんですよ。聞くところによると100万か150万かするという話ですけどね、それは阿久根の、阿久根のね、阿久根の業者が納める、阿久根の生産者が納めるものはちゃんとやっばりあなたが言ったじゃないですか、地産地消阿久根（聴取不能）せないかんです。でも何に異物が入っているかわからないんですよ。豆腐に入っているかもしれない、パンに入っているかもしれない。肉に入っているかもしれない。わからない。どこでも機械でしてる。入るんだから。そういうのにそれぞれ業者に買いなさいっていったって買えませんよ。そういうのをね、全体で学校給食センターでチェックすることこそね、公金を公平に公正に使うね、意義があるんですよ、意義が。それをいや市民から預かって、大事に預かったお金だからね、納入業者にやってもらうなんて言語道断。あなたたちがそれを使いさえすれば、全部安心安全のを出せるんでしょ。あなたにこれを言ったってわからん。教育長と話をするけどね、そんなことを言いおったら阿久根の業者はつぶれる。何が阿久根の村おこし、何が阿久根の市民所得の向上か。とういうことで、ちゃんと報告しとってください。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、議案第23号中、学校給食センター所管の事項について、審査を一時中止いたします。

（学校給食センター退出、教育総務課、学校教育課入室）

次に、議案第23号中、教育総務課及び学校教育課所管の事項について審査に入ります。教育総務課長の説明を求めますが、説明は所管の予算内容、新規事業等について、簡潔明瞭をお願いいたします。

佐潟教育総務課長

先の本会議において、特別委員会付託になりました平成26年度一般会計予算の教育総務課及び学校教育課所管に係る主なものについて歳出から御説明申し上げます。

47ページをお開きください。2款総務費1項総務管理費18目市民交流施設建設費8節報償費及び9節旅費につきましては、阿久根市民交流センター建設委員会や市民ワークショップ等の謝金及び委員の費用弁償や社会資本整備総合交付金に関する業務など、九州地方整備局への旅費でございます。12節役務費は、構造適合判定などの建築確認申請等に必要手数料等です。48ページに移りまして13節委託料8,459万5千円は、昨年9月の第3回定例市議会において債務負担行為の提案をさせていただきました市民交流センター建設の基本設計、実施設計及び市民会館解体設計に伴う設計業務委託料や現地測量業務、開発許可申請作業業務、建設予定地地質調査業務であります。

106ページをお開きください。10款教育費1項1目教育委員会費240万9千円は、教育委員4人分の報酬227万1千円が主なものであります。2目事務局費1億1,695

万5千円は、前年度比341万5千円減額の97.16%であります。これは人事異動に伴う人件費の減額が主であり、2節給料から4節共済費は教育長を含む職員10名分の人件費であります。107ページをお願いいたします。19節負担金補助及び交付金3,560万1千円は、県教育委員会派遣職員負担金4名分の3,486万2千円など12件の負担金と会議出席負担金及び2件の補助金であります。108ページになります。3目教職員住宅費379万7千円は、前年度比1,793万8千円減額の17.47%であります。これは25年度に元気臨時交付金事業を活用して、教職員住宅の浄化槽設置工事等改修工事を実施し、教職員住宅の浄化槽設置が完了したことによるものであります。11節需用費は、教職員住宅修繕に要する経費が主であります。4目教育指導費560万4千円は、1節報酬の外国語指導助手の報酬388万6千円が主なものであります。

109ページをお願いいたします。10款2項小学校費1目学校管理費1億5,130万8千円は、前年度比2,258万5千円減額の87.01%であります。これは15節工事請負費の減少が主な要因であります。1節報酬1,629万7千円は、学校図書司書嘱託員6名分及び建築技能嘱託員1名、そのほか学校保健安全法に基づく学校医、学校薬剤師の検診等に係る報酬であります。4節共済費は、学校用務員及び図書館嘱託員の社会保険料が主なものです。7節賃金1,361万6千円は、学校用務員9人分の賃金であります。11節需用費3,439万円は、市内各小学校の消耗品費、光熱水費及び校舎等修繕料などでございます。13節委託料1,171万2千円は、各小学校の警備業務、浄化槽清掃業務、廃棄物収集業務など14件の委託業務であります。110ページになります。15節工事請負費5,221万6千円は、元気臨時交付金事業を活用した折多小学校駐車場舗装及び非常出口工事ほか、田代小学校校舎外壁及び屋上防水改修工事等4件、単独事業として阿久根小学校屋内運動場外壁工事など15件の改修等工事費を予算計上しています。18節備品購入費1,033万4千円は、小学校の机、いすなど学校管理備品購入費と、26年度は新たに阿久根小学校など5小学校の校長室及び4小学校の事務室に空調機購入費を予算計上いたしました。19節負担金補助及び交付金は、学校管理における児童のけがに対し給付を行う共済掛金が主なものでございます。

2目教育振興費6,758万5千円は、前年度比214万円増額の103.27%です。7節賃金1,750万7千円は、特別支援教育支援員12名分と理科支援員2名の賃金であります。11節需用費は、市内各小学校の授業用消耗品、コピー代、印刷代などでございます。111ページです。13節委託料は、脇本小学校に通学する隼人小校区の児童に対する通学バス運行業務委託料と市内各小学校の学力・知能検査業務委託料などでございます。14節使用料及び賃借料1,363万6千円は、全小学校のパソコンリース料やウェブセキュリティ、スクリーン、プロジェクター等の借上料です。18節備品購入費805万2千円は、阿久根小学校にランドピアノ購入等、各小学校の教材備品購入費であります。19節負担金補助及び交付金は、各小学校の教育活動等に要する経費に対して補助する未来をひらく阿久根っ子事業費として市内各小学校配当分153万円、山村留学実施事業に係る助成金74万円が主であります。20節扶助費の655万6千円は、特別支援教育児童及び準要保護の学用品費や給食費等の扶助費などであります。

続いて10款3項中学校費1目学校管理費9,308万3千円は、前年度比2,464万3千円増額の136.01%であります。これは、13節委託料及び15節工事請負費の増額が主であります。1節報酬803万3千円は、112ページに移りまして、学校図書司書嘱託員3名、建築技能嘱託員1名、学校医・学校薬剤師の職務にかかる報酬であります。7節賃金605万2千円は、学校用務員4人分の賃金です。11節需用費1,816万2千

円は、市内各中学校の消耗品と光熱水費、学校修繕料が主なものであります。13節委託料1,772万8千円は、市内各中学校の警備業務、浄化槽清掃業務、廃棄物収集業務など13件の物件費の委託業務であります。新年度の新規事業といたしまして、阿久根中学校のプール実施設計業務委託料を予算計上し、27年度以降に老朽化したプールの改築に努めたいということで計上したものでございます。113ページになります。15節工事請負費3,041万3千円は、元気臨時交付金事業を活用した大川中学校屋内運動場屋根防水工事ほか、鶴川内中学校駐車場舗装工事など4件を予定し、単独事業として阿久根中学校トイレ改修工事ほか三笠中学校屋内運動場防鳥ネット設置工事など4件の改修工事を予算計上しています。16節原材料費は、校舎補修等の材料費であります。18節備品購入費は、各中学校の机、いす等の学校管理備品購入経費と、26年度は新たに4中学校の校長室及び事務室に空調機購入費を予算計上いたしました。19節負担金補助及び交付金は、学校管理下における生徒のけがなどに対して給付を行う共済掛金が主なものであります。

2目教育振興費4,149万6千円は、前年度比215万8千円減額の95.06%であります。1節報酬は、学校教育支援事業として阿久根中学校と三笠中学校に英語の支援教員を各1名配置し、学校教育の充実を図るものであります。7節賃金は、特別支援教育支援員2名分の賃金であり、8節報償費は、阿久根中学校と三笠中学校2校分のスクールカウンセラーへの謝金、弁論大会等行事賞品が主であります。11節需用費は、市内4中学校の授業用の消耗品と教材備品の修繕料が主なものであります。114ページをお願いいたします。13節委託料は、鶴川内中学校及び三笠中学校生徒の通学バス運行業務委託料及び4中学校の学力・知能検査業務委託料であります。14節使用料及び賃借料849万8千円は、全中学校のパソコンリース料やウェブセキュリティ、スクリーン、プロジェクター等の借上料が主なものであります。18節備品購入費564万1千円は、楽器やバレーボール支柱など、市内各中学校教材備品購入費が主なものになります。19節負担金補助及び交付金は、中学校体育に関する競技会等参加補助金や未来をひらく阿久根っ子事業補助金などが主なものであります。20節扶助費は、特別支援教育及び準要保護生徒の学用品費、給食費等を助成するものであります。

115ページになります。4項1目幼稚園費19節負担金補助及び交付金は、幼稚園就園奨励補助金が主なものであり、134名分を計上いたしました。

次に、歳入について御説明申し上げます。予算書の20ページをお開きください。11款分担金及び負担金2項3目教育費負担金1節小学校費負担金39万1千円及び2節中学校費負担金20万7千円は、児童生徒の学校管理下におけるけがなどに関する必要な給付を行うための共済掛金の保護者負担金であります。小学校で850人、中学校で450人、計1,300人分を見込み予算計上いたしました。21ページに移りまして、12款使用料及び手数料1項7目教育使用料2節小学校使用料36万1千円及び3節中学校使用料45万円は、小・中学校の体育館施設使用時の照明料であります。

次に、24ページをお願いいたします。13款国庫支出金2項9目教育費国庫補助金2節小学校費補助金8万9千円と3節中学校費補助金13万3千円は、特別支援教育就学児童・生徒の給食費、学用品費等の国庫補助金であります。4節幼稚園費補助金387万5千円は、幼稚園就園奨励費に対する補助金で、事業費2,141万8千円に対する3分の1以内の補助となっておりますが、国の補助金削減率を見込んだ額を予算計上しております。

次に、27ページをお願いいたします。14款県支出金2項9目教育費県補助金1節教育総務費補助金29万円は、スクールガード・リーダー配置事業に係る県補助金であり、4節幼稚園児補助金15万円は、多子世帯保育料等軽減事業に係る県補助金であります。

28ページをお開きください。14款3項9目教育費委託金1節事務局費委託金31万3千円は、前年度比80万3千円減額の28.05%であります。これは中学校カウンセラー事業が県直轄になったことと、スクールソーシャルワーカー実践研究事業の委託金の率が変わったことによるものであります。この変更になった比率は、3分の2が3分の1になったことによります。

29ページになります。15款財産収入1項1目財産貸付収入1節土地建物貸付収入の教育総務課所管分は、説明の3行目、教職員住宅の貸付料734万4千円であり、小学校18戸、中学校7戸、指導主事1戸の計26個分であります。2目利子及び配当金1節利子及び配当金のうち、説明の下から6行目奨学金貸付基金利子2万1千円、市民交流施設整備基金利子8万8千円であります。

次に31ページをお開き願います。19款諸収入5項3目違約金及び延納利息1節違約金及び滞納利息は、奨学金貸付金の延滞利息を費目設定したものであります。32ページになります。同じく4目雑入20節雑入のうち、教育総務課、学校教育課所管分は、1段目の雇用保険料と中ほどにあります私用電話料の小学校と中学校、33ページに移りまして、4行目の原子力立地給付金を合わせた61万1千円が所管の雑入になります。

34ページをお願いいたします。20款市債1項1目総務債1節総務管理債7,510万円は、市民交流施設建設事業債として過疎対策事業債を活用する見込みであります。35ページをお開き願います。同じく、9目教育債3節中学校債240万円は、大川中学校屋内運動場屋根防水改修工事に学校教育施設等整備事業債を活用する見込みであります。

以上で教育総務課、学校教育課所管の説明を終わりますが、よろしく御審議くださるようお願いいたします。なお、答弁につきましては、私、並びに学校教育課長でお答えさせていただきますが、不足の場合は、担当係長に補足をさせますので、よろしくお願いいたします。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

牟田学委員

48ページですが、2款総務費1項総務管理費の18目市民交流施設建設費の13節委託料ですけれども、この実施設計、基本設計は、昨年から債務負担行為でことに回ったわけですけれども、ちょっと聞いた話です。今地質調査のボーリングを行っているって聞いたんですけれども、それはどこから予算がでているんでしょうか。

佐潟教育総務課長

これにつきましては、地質調査につきましては、昨年の定例市議会において債務負担行為で予算化をお願いして承認を得た事業でございます。

[牟田学委員「了解。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

山田勝委員

小学校費、中学校費共通してちょっとお尋ねしますが、通学バス運行業務というのが中学校も小学校もあるんですよね、これは各学校、学校幾らずつかかるんですか。

佐潟教育総務課長

脇本小学校の通学バス運行業務委託としまして、新年度につきましては、6年生の女子、それと1年生の女子二人をタクシーで、朝につきましては、103回分を小学校費で予定しております。この費用につきましては、予算計上している部分については、30万9千円。それと夕方につきましては、203回分を予定しておりまして、40万6千円を予定し

ているところでございます。中学校につきましては、三笠中学校の3年生が新年度に一人予定しております、これにつきましては、87万4千円を予算計上し、それから鶴川内中学校に中学校2年生、3年生の女性が一人ずつの計2名、88万1千円を予定しておりますけれども、支払につきましては、実績払いということで計画しております。以上です。

山田勝委員

二人の子供を、あるいは一人の子供をね、送迎することでこれぐらいの大幅な予算がいる。これは仕方ないことですよ。学校を閉校するに当たっての約束ですし、維持することよりもずっと安い。それはわかりますよ。ただね、課長、御存じのとおり、田代小学校は別に、田代は別にしてね、隼人小学校は乗合タクシーが運行されることになってますよね。ところが乗合タクシーは高齢者の交通弱者の対策だったけれども、これはだれでも乗れるんですよという制度の乗合タクシーだったというふうに私は記憶してるんですよ。であったらね、例えば、朝と夕方、それぞれ何回かあっちこっちすると思いますよ。乗合タクシーもね、指定されていると思いますよ。ここらの部分でね、何とかできなかったのか。もしできるとしたらね、国土交通省が半分は補助をしているという一つの中で、もっと節約ができたという気がするんですが、そんな検討はしなかったの。

佐潟教育総務課長

今までのところ検討はしておりませんが、担当である企画調整課との調整も必要であろうかと思えますし、先ほど山田委員が話をされた時間等の部分、例えば中学生になれば、クラブ活動をして帰る時間が遅くなったりする部分もありますので、一概に何時にとということが決まっていない部分がありますので、そこらは研究が必要なのかなというふうに考えております。またクラブ活動につきましても、試験の場合にはクラブ活動が、練習ができませんので、早い時間帯に利用したりという部分もありまして、調整が必要であろうかなというふうに考えます。

山田勝委員

それはね、隼人小学校ね、隼人小学校じゃなくて田代小学校はね、まだ乗合タクシーあるいはグループタクシーのところではね、ひっかかっている、これはできない。これはしばらくはできないでしょうね。ところが隼人小学校についてはですね、隼人校区については現実に運行している。そういう中でもうちょっとね、詰めて、同じ阿久根市という同じ会計の中の話やらな。一つの1課の話じゃないですか。そこをもうちょっと詰めてね、できるところはできさせてですよ、どうしてもそれを利用できない部分は、あなたが今さっき言った回数で決まっているのであったらですよ。これは特別これをしたからといってまず通学バスについては、通学タクシーについては、何か国、県か何かの補助金があるの、制度があるの。

松田施設管理係長

補助金につきましては、最初、制度が補助事業はあったんですが、現在は補助期間が切れてありません。

山田勝委員

そういうね、国も県もそういう補助をしてきてないんだしたらね、せめて朝でもですよ、夕方でもそれなりの時間を企画調整課とね、打ち合わせして、できる時間があつたらしいと思いますしね、合わせてね、父兄のほうはね、朝少々30分早く出て行ってもね、どうってことないんですよ。だから、その付近はやっぱね、同じ阿久根市という1課の経営の中でより経費を節減するために、やはり打ち合わせせないかんのじゃないですか。だから、ぜひね、今、佐潟課長が言われるようにいろいろね、100点ちゅうのはないでしょうよね。100点というのはなかって、そういう必要はね、私は80何万がですよ、80万がかり

に50万になってもすごいものですよ。だからその付近はやっぱりね、せっかくこの庁舎内の話やらな。アメリカ行って語らなならんとやんか。東京に行かなならんとやんか。庁舎内のことですからね、これはあなた方に、あなただけに言ったって、簡単にいかないことから、また総括で話をしておくけどね、やっぱりその付近はね、ちゃんと打ち合わせをして、少しでも安く上がるようにして欲しいな。以上。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

牛之濱由美委員

110ページ、10款2項2目7節ですね、賃金で1,750万7千円が計上されてるわけですけども、まず確認したいんですけども、これは特別支援員9名と理科支援員2名でしたっけ。まず。

中山学校教育課長

特別教育支援員が12名です。そして、理科支援員のほうが2名ということでございます。

牛之濱由美委員

特別支援員のほうをちょっと私がミスをしていました。ところで、理科支援員ですけども、4月からまた新入学ということですけども、今ちょっと目にしたんですけども、ハローワークのほうで阿久根市の理科特別支援のほうを募集が入っていたようですけども、採用は決まりましたか。

中山学校教育課長

ハローワークのほうは、今のところどなたも申込みはございません。

牛之濱由美委員

それでは、現在1名の状態で新学年をスタートということになりますか。

中山学校教育課長

1名の方は、定期のほうで見つかりましたので、あと1名については、今見つけようと努力をしているところでございます。

牛之濱由美委員

努力をしてください。今現在いらっしゃる1名の理科支援の先生で、6校でしたっけ、6校を回るんですよ。やはり、大変厳しいものがあると思います。それ以上にまた子供たちへのですね、不平等が出てくるんじゃないかという思いがありますので、ぜひ早急に理科支援員を応募お願いいたします。応募じゃない、採用ですね。よろしく申し上げます。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

石澤正彰委員

教えてください。24ページ9目2節と3節の最初のところにですね、特別支援教育就学児童給食費でありますよね。中学校のとこ補助金も一緒ですが、これは給食の補助を出してるという意味なんでしょうか。

佐潟教育総務課長

特別支援学級等で学ぶ際に保護者が負担する教育関係費の学用品費等について、家庭の経済状況等に応じて補助する制度でありまして、これにつきましては、国が、ここに書いてある24ページになりますと、国が4分の1を補助するという制度であります。

石澤正彰委員

それでしたらですね、これ小学校も中学校も3項目ずつありますね。ということは、最初の1項目の児童給食費、生徒給食費、それぞれ受けてる家庭といいますか子供というのは、

この3項目すべて補助を受けてるということでもいいわけですか。

佐潟教育総務課長

すいません。質問がちょっとわかりにくかったんですけども、この特別支援教育就学児童というのにつきましてはですね、実績といたしまして平成24年度につきましては、給食費について小学校費の補助金は16名、中学校生徒の部分については7名が対象になっているということでございます。また、26年度につきましての予算計上をしています部分については、26年度では小学校13名、中学校を12名で予算計上しております。以上です。

石澤正彰委員

課長、だから、給食費の補助を受けてる生徒、特別支援の生徒については、2項目目が就学生と学用品費でありますよね、3項目が。修学旅行は1回しかないんでなんですが、これを要するに給食を受けているものは全部適用してそれを受けてるんですかという質問やったんですが。

小中教育総務課長補佐

補足してお答えいたします。特別支援につきましては、先ほど課長から話がありましたとおり、特別支援学級に通う児童生徒に対して支給するというので、支給項目につきましては学校給食費、それから学用品費と修学旅行費になります。修学旅行費につきましては、小学校でしたら5、6年生、中学生でしたら2年生が対象となるということになります。以上です。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

同じ人が三つとも受けている人がおるのかということ。

小中教育総務課長補佐

同じ人が三つ受けることもあります。それから、就学旅行が対象でないと給食費、それから学用品費の2項目を受給するということになります。以上です

[石澤正彰委員「わかりました。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、議案第23号中、教育総務課及び学校教育課所管の事項について、審査を一時中止いたします。

(教育総務課、学校教育課 退出)

ここで一時休憩します。

(休憩 14:56 ~ 15:06)

(水道課 入室)

予算特別委員長（岩崎健二委員）

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。次に、議案第23号中、水道課所管の事項について、水道課長の説明を求めますが、説明は所管の予算内容、新規事業等について、簡潔明瞭にお願いいたします。

浦水道課長

先の本会議において予算特別委員会に付託されました議案第23号、平成26年度阿久根市一般会計予算のうち、水道課所管の事項について御説明申し上げます。

予算書の72ページをお開き願います。第4款衛生費3項1目上水道費9,277万6千

円は、筒田地区に給水している野田地区簡易水道事業に負担金として支払う19節負担金補助及び交付金68万円と、28節繰出金9,209万6千円は、簡易水道特別会計への財政援助分と子ども手当分であり、88万円は、上水道事業会計の子ども手当分であります。

以上で説明を終わりますが、なお、質疑に対する答弁は、私もしくは担当係長がいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

課長の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

山田勝委員

一般会計から出しているお金の根拠は、出している金額の根拠を教えてください。

新坂簡易水道係長

お答えします。普通地方交付税の算定に用いられる基準財政需要額等から算出して、負担金として出水市へ納入しているものでございます。以上です

山田勝委員

阿久根市の分は。

新坂簡易水道係長

繰出金のことで。

[山田勝委員「そうです。」と呼ぶ]

繰出金の内訳を申し上げます。簡易水道特別会計9,121万6千円の内訳としては、12万円の子供手当とルール分と申しまして、国の繰出基準であります。建設改良に係る元利償還金の2分の1にあたる部分の経費を繰り入れております。また、歳入不足分を援助分として繰り入れた額になります。繰り入れ部分、援助分がふえた理由といたしましては、公債費の元利償還額が1,460万7千円ふえたことに加え、総務費の委託料、先日から申し上げております未認可4地区の認可申請書の作成業務委託が961万7千円とふえたことによるものです。以上です。

山田勝委員

今、係長の説明を聞いてれば、結局その国の補助金分というのは、工事費に対する国の補助金分を繰出金として簡易水道特別会計に繰り出しているということですよ。何でか私がこういうことを言うかとしたらですね、結局、野田町に基準需要額の分をね、野田町に出しているのに、阿久根市では基準需要額の分をね、まったく別会計であるはずの簡易水道特別会計に基準需要額分をちゃんと出してくれないのという話をしていたんですよ。だから今あなたの説明を聞いてれば、繰出金の中に基準需要額の分は関係ありませんと、こういうことでしょうか。いや、それでいいんですよ。それならそれでいいんですよ。財政課長と話をすることですから。それでいいですよ。それだったらね、いいです。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、議案第23号中 水道課所管の事項について、審査を一時中止いたします。

○議案第25号 平成26年度阿久根市簡易水道特別会計予算

予算特別委員長（岩崎健二委員）

次に、議案第25号を議題とし審査に入ります。水道課長の説明を求めます。

浦水道課長

先の本会議において予算特別委員会に付託されました議案第25号、平成26年度阿久根市簡易水道特別会計予算について御説明申し上げます。

初めに歳出から御説明をいたします。予算書の51ページをお開き願います。第1款総務費1項1目一般管理費は、1億508万7千円であります。1節報酬費173万8千円は、簡易水道事業に係る事務補助等の嘱託員の報酬が主なものであります。2節給料685万6千円、3節職員手当等396万8千円、4節共済費268万5千円は、職員2名の人件費と嘱託員1名の社会保険料であります。7節賃金25万2千円は、簡易水道施設管理保持等の応急作業員に係る賃金であります。8節報償費35万円は、水道料金納付書配布、水道料の取りまとめ収納謝金等であります。11節需用費3,284万8千円は、滅菌用薬品、浄水に必要な消耗品等176万2千円、電気料等の光熱水費1,700万円、水道施設における機械、装置等の補修、漏水の復旧、期限切れメーターの取りかえ等の修繕料1,341万7千円が主なものであります。12節役務費1,178万6千円は、水質検査料、漏水調査手数料などのその他役務費1,014万5千円が主なものであります。13節委託料3,065万5千円は、水源地、配水池の管理及びメーター検針業務13地区分、水道メーターの検針を行うハンディターミナル機器の保守点検業務、計装設備保守点検業務、認可申請書業務委託費であります。次のページになります。14節使用料及び賃借料189万2千円は、メーター検針に使用するハンディターミナル機器のリース料や台風災害時等の自家発電機リース料及びろ過砂、漏水時給水タンク運搬用車借上等が主なものであります。15節工事請負費980万7千円は、尾崎地区簡易水道仮設導水管撤去工事ほか、3件の工事請負費であります。16節原材料費120万円は、簡易水道補修用の原材料の購入であります。18節備品購入費24万円は、量水器及び残塩チェッカーの購入費であります。19節負担金補助及び交付金66万2千円は、鹿児島県水道協会費40万5千円、水道料金システムサポート負担金24万8千円であります。

次のページになりますが、第2款1項1目簡易水道施設整備事業費2億3,064万円は、大川・尻無地区簡易水道、脇本地区簡易水道、黒之瀬戸簡易水道施設整備に係る事業費であります。1項1目9節旅費3万8千円、11節需用費54万円、12節役務費4万8千円は事務費であります。13節委託料1,782万円は、大川・尻無地区、脇本地区、黒之瀬戸簡易水道施設整備実施設計委託業務費であります。15節工事請負費2億1,219万4千円は、大川・尻無地区簡易水道の送配水管布設工事費と黒之瀬戸簡易水道配水管布設及び消火栓設置工事、脇本地区簡易水道の配水管布設工事費であります。

第3款1項公債費1目元金5,212万円は市債の償還金元金であり、2目利子1,923万1千円は、同じく市債の償還金利子が主なものであります。

第4款1項1目予備費は、100万円を計上したところであります。

次に、歳入について御説明申し上げます。予算書の49ページをお開き願います。第1款使用料及び手数料1項1目水道使用料は、8,620万8千円であります。1節水道使用料8,620万円ではありますが、水道使用料の現年度分8,600万円は、給水予定戸数3,750戸に係る水道料金で、消費税率改正により税込水道料金の増額等を見込み、前年度より100万円増額見込み計上したものであります。また、過年度未収分は、20万円を計上してあります。2節簡易水道施設用地使用料8千円は、水道施設用地内における電柱に係る用地使用料であります。2項手数料1目1節水道手数料17万8千円は、水道料金の督促、給水栓の開栓、閉栓、給水工事検査等の手数料であります。

第2款分担金及び負担金2項負担金1目給水負担金51万8千円は、新たな給水装置の設置に伴う給水負担金であり、13ミリ量水器12件分を見込計上したものであります。

第3款国庫支出金2項国庫補助金1目簡易水道施設整備費国庫補助金7,080万円は、大川・尻無地区簡易水道、脇本地区簡易水道、黒之瀬戸簡易水道施設整備事業に伴う国庫補助対象事業費に対する3分の1の補助金であります。

第5款繰入金1項1目一般会計繰入金9,306万3千円は、財政支援費9,121万6千円及び消火栓149基分維持管理経費及び4基の新設設置分及び子ども手当に係る繰入金であります。

第6款1項1目繰越金の1千円は、科目設定をいたしました。

50ページをお開きください。第7款諸収入1項1目市預金利子1千円は、科目設定したものであります。2項1目雑入10万9千円は、原子力立地給付金、嘱託員の雇用保険料及びその他雑入であります。

第8款1項1目市債1億5,720万円は、簡易水道施設整備事業に係る借入資金であり、大川・尻無地区及び脇本地区、黒之瀬戸簡易水道施設整備事業について、過疎債及び簡易水道事業債を充当するものであります。また、公債費における元金償還及び今年度の簡易水道施設整備事業債の資金借入を行った後の平成26年度末における市債残高は、63ページに示すとおり15億7,721万9千円になる見込みであります。

以上で、説明を終わりますが、質疑に対する答弁は、私もしくは担当係長が行いますのでよろしくお願ひ申し上げます。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

課長の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

山田勝委員

また、財政担当に聞くんだけどね、この予算をずっと見てるとね、市役所からの一般会計からの繰入金は財源区分ではね、一般財源ではなくてその他の経費が合計しているよね。その他の合計が一般会計から繰り入れているお金ですよ。そういうことで、一般管理費の中で2,133万5千円使っている。それから、事業費の中でね、1,400万、それから公債費、借金を返すのに対して7,112万1千円、こう使っているんだよね。ところが、よく考えてみると、水道課としてはそんなのは扱っていませんよということだと思いますよ。そんなら、過疎債を使っているんですか、何を使っているんですか。過疎債を使ったらこういうふうに利点がありますよねという議論をしようにも、実は資料もなければ、議論もしない。ただ、何でかって言ったら、過疎計画をつくる時ですね、簡易水道についてもちゃんと議決しているはずですよ。だから財政課でやっていることだから、わからんと言えばそれでいいんです。でも、今こう考えてじっと見たときですね、そういうのは水道課じゃやっていないんだなと。財政課からこれだけですよと言われて、それをちゃんと載せているだけかなと僕は今感じたんだけど、いかかですか。

新坂簡易水道係長

お答えになるかちょっとわからないんですが、簡易水道債と過疎債を約2分の1、過疎債を2分の1未満なんですが、活用させてもらっています。2分の1で申し上げるのが、先ほど申し述べたルール分と申しまして、交付税措置される部分でありますので、だいたい半分ずつ活用させていただいております。地方債については、過疎債については、交付税の7割というお話もありますが、簡水債も5割なんですが、簡水事業の中では2分の1ということで、同等の算入割合になりますので、そこはどちらも活用しているということでもあります。

山田勝委員

これ以上、僕が話をしていいたらね、もういいですよ。あなたは過疎債は半分半分、半

分ですよ、違うんだから。過疎債についてはこうだと決まってるでしょう。現実には財政課がちゃんとしてやっているんですよ、私たちはそういうことで財政課の指示どおりやっていますと、それでいいんですよ。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにありませんか。

石澤正彰委員

49ページ、歳入の1目1節水道使用料のどこなんです、未収分20万、過年度分ということになってますよね。これは集金ができていないというふうに理解すればいいんですか。

浦水道課長

これは過年度分といいますのは、今までの滞納分であります。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

いいですか。

石澤正彰委員

その単年度ではなくて、複数年度20万未収があるという理解でいいわけですね。

浦水道課長

未収がこれだけあるというわけじゃなくてですね、今年度、見込みとしてこれぐらいは入れる、回収できるのではないかという数字であります。

石澤正彰委員

ということは、滞納額というのはもっと多いということですか。多いのであれば、滞納の金額、入っていない金額を教えてください。

浦水道課長

今、手持ちで持ってきてませんので、あとでよろしいですか。

[石澤正彰委員「はい。」と呼ぶ]

予算特別委員長（岩崎健二委員）

いいですか。ほかにありませんか

[「なし」と呼ぶする者あり]

なければ、議案第25号について、審査を一時中止いたします。

○議案第29号 平成26年度阿久根市水道事業会計予算

予算特別委員長（岩崎健二委員）

次に、議案第29号を議題とし審査に入ります。水道課長の説明を求めます。

浦水道課長

先の本会議において予算特別委員会に付託されました議案第29号、平成26年度阿久根市水道事業会計予算について御説明申し上げます。

予算書の151ページをお開き願います。収入支出の見積り基礎、収益的収入及び支出の収入から御説明いたします。

初めに、第1款水道事業収益は、3億6,175万1千円であります。1項営業収益1目給水収益3億4,809万8千円は、給水予定戸数6,700戸に係る水道料金を3億4,654万3千円、消費税率改正により税込み水道料金の増額等を見込み、前年度より1,199万9千円増額見込計上し、給水負担金155万5千円を、新たに給水を受ける32戸分として、前年度より4万3千円増額見込み計上したものであります。なお、前年度より増額となったのは、消費税率改正によるものが主なものであります。2目その他営業収益252万3千円は、消火栓維持管理及び児童手当に係る他会計負担金175万9千円と給水工事検

査、開栓、閉栓、督促等に係る手数料76万4千円を見込み計上したものであります。

次に、2項営業外収益についてであります。1目受取利息95万円は定期預金利息であり、2目補助金1千円は、科目設定。3目雑収益32万7千円は、原子力立地給付金が主なもので、見込み計上したものであります。4目長期前受金戻入984万9千円は、平成26年度から公営企業会計制度が改正されることに伴い、国、県、一般会計補助金や工事負担金等については、それにより取得した固定資産の償却に応じた分について収益化することとなったため、平成26年度の減価償却に対応した額をそれぞれ見込み計上したものであります。

次の152ページ、3項特別利益1目固定資産売却益1千円。2目過年度損益修正益1千円。3目受入補償金1千円は科目設定したものであります。

153ページになりますが、支出について御説明申し上げます。1款事業費は、3億4,049万3千円であります。1項営業費用1目原水費5,428万円は、水源地及び浄水施設の維持管理経費であり、水源地管理等業務及び電気計装設備の保守点検業務等の委託料1,383万6千円、水質検査などの手数料294万9千円。施設、設備等の修繕費648万円、水源地の高圧電気料として動力費2,707万1千円、滅菌用の薬品費221万円がその主なものであり、見込み計上したものであります。次の154ページになります。2目配水及び給水費4,333万9千円は、配水給水施設の維持管理等に係る経費であり、職員3名の人件費と公営企業会計制度改正により、次年度の6月支給分の期末勤勉手当及びその法定福利費のうち、本年12月から来年3月までの4カ月間に対応する分の賞与等引当金繰入額、漏水当番店待機業務、量水器取替業務などに係る委託料548万6千円。次の155ページをお願いします。漏水修繕等や車両機械器具修繕、量水器取りかえに伴う修繕費1,229万円などが主なものであり、見込み計上したものであります。なお、次に3目業務費3,486万9千円は、水道料の収納業務等に係る経費が主なものであり、職員3名の人件費、賞与等引当金繰入額のほか、水道料金の区取りまとめ等の報償費112万円、納付書、水道使用量等のお知らせ表、封筒などの印刷製本費147万6千円、納付書、督促状、催告書等の発送等に係る通信運搬費131万7千円。次の156ページをお開き願います。メーター検針業務等の委託料557万3千円、金融機関における口座振替等に係る手数料129万円がその主なものであり、見込み計上したものであります。次に4目総係費2,570万3千円は、水道事業全般にわたる一般管理費であり、職員2名の人件費、賞与等引当金繰入額のほか、上水道事務嘱託職員1名分の報酬と事務用消耗品などの備消耗品費151万7千円。次の157ページをお願いします。公営企業会計新制度円滑運用支援業務、企業会計システム保守業務などの委託料344万8千円、企業会計電算機器などの賃借料19万6千円、これまでの不納欠損額の割合で算出した本年度分の見込不納欠損額を計上した貸倒引当金繰入額21万1千円などが主なものであり、それぞれ見込み計上したものであります。5目減価償却費1億2,978万円は、固定資産の減価償却費を見込み計上したものであります。6目資産減耗費210万円は、固定資産除却費及びたな卸資産減耗費を見込み計上したものであります。

2項営業外費用3,800万9千円は、企業債利息の償還及び消費税の支払い等に伴う経費を見込計上したものであり、1目支払利息及び企業債取扱諸費2,179万8千円は、企業債利息の償還金2,175万4千円が主なものであり、次の158ページをお願いいたします。3目消費税及び地方消費税1,596万1千円は、水道料金等に係る消費税及び地方消費税であります。

3項特別損失941万3千円のうち、1目過年度損益修正損490万8千円は、本年6月に支給する賞与及びその法定福利費分のうち、前年度の勤務に係る分、昨年12月から本年

3月までの4カ月間に対応する分を前年度、平成25年度の損益とするために計上したものであり、2目その他特別損失450万5千円は、過年度未収金のうち破産更生等債権として、長期にわたり回収不能となっているものを精査し、貸し倒れとして処分するための引当金として計上したものであります。

4項1目予備費は、300万円を計上しました。

次の159ページになりますが、資本的収入及び支出について御説明申し上げます。初めに収入から御説明いたします。1款資本的収入は、2千万1千円を見込計上したものであります。

1項1目企業債2千万円は、配水管布設替事業に伴う借入資金であり、2項1目固定資産売却代金1千円は科目設定したものであります。

次に160ページになりますが、支出について御説明いたします。1款資本的支出は、1億941万9千円を見込み計上したものであります。このうち、1項建設改良費1目配水設備改良費4,249万3千円は、工事請負費として、市道3-6-5線約500メートルの配水管布設替を計画し、見込み計上したものであります。2目メーター購入費82万2千円は、新設用メーター65個を購入しようと思込み計上したものであります。3目固定資産購入費212万円は、車両運搬具購入費としてパトロール車として普通自動車購入を予定し、見込み計上したものであります。

2項1目企業債償還金6,098万3千円は、昭和60年度以降の企業債の借り入れに伴う元金の償還金であります。この結果、平成26年度末における企業債の残高は、7億7,965万4千円となる見込みであります。

3項1目出資金は科目設定したものであり、4項1目予備費は、300万円を見込み計上したものであります。

以上で、説明を終わりますが、質疑に対する答弁は、私もしくは担当係長が行いますのでよろしくお願い申し上げます。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、議案第29号について、審査を一時中止いたします。

（水道課 退出）

本日の各課の審査が終わりました。それでは、ここで現地調査についてお諮りいたします。各委員の御意見を伺います。

牛之濱由美委員

103ページになります。9款1項1日常備消防費の中です。阿久根は24年度、25年度と高額な消防車両等の購入費に充てて、いろんな補助金等使っています。そこで26年度に関しては、水槽付き消防ポンプ自動車の購入を予算計上されています。今、現在あるポンプ車ですね、それがどの程度の老朽化しているのか。まだ1回も議会側としては見ずして予算計上、可決というような流れですので、ぜひ今回はまた、今また、改めて25年度予算可決されたそういうレスキュー車も入ったことですし、今回ぜひその今、老朽化している水槽ポンプ車を見せていただいて、説明をいただくという形をお願いできないでしょうか。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ただいま、牛之濱委員より103ページ、9款1項1目18節の備品購入費について、旧

ポンプ車を現地調査してみたいとの意見がありましたが、いかがですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ほかにはありませんか。

山田勝委員

阿久根駅。

予算特別委員長（岩崎健二委員）

何ページですか。

山田勝委員

阿久根駅、阿久根駅改築状況。それで学校給食センター、市民課のね、総合窓口をしようとするという話だから、その説明を聞いてみたい。

〔複数人発言する者あり〕

予算特別委員長（岩崎健二委員）

ほかにはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、103ページ、9款1項1目18節及び92ページ、7款1項3目13節委託費。124ページ、10款6項4目15節及び18節工事請負費及び備品購入費について。49ページ、2款3項1目1節報酬についてに関して現地調査を行いたいと思いますが、これに異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

いいですか。

〔複数人発言する者あり〕

49ページは、窓口業務。

〔複数人発言する者あり〕

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。なお現地調査は、あしたの財政課の審査後に行いますので、よろしく願いいたします。

ここでお諮りいたします。

本日の審査はこの程度にとどめ、散会したいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、本日はこれにて散会します。

あしたは、午前10時より再開いたします。

（散会 15：51）